

調 査 部

海 洋 調 査

本調査ハ海洋ノ状態ヲ明ニシ魚族回游移動ノ調査ト併セ相互關係ヲ明ニセントスルニ在リ從來ニ繼續施行セリ其種類左ノ如シ

一、開聞岬ヨリ屋久島ニ至ル横斷觀測

二、鹿兒島灣ノ定點觀測

以上觀測ノ結果ハ以下記述スヘク其他鯉漁業試驗ノ往復航路中漁場表面水温ヲ觀測セシ九航海分ハ概要鯉漁業試驗ノ項ニ記セシモ一般當時ノ海況ヲ知ル資料タルヲ以テ附圖トシ其他濁目鱸漁場、鯽飼付漁場ヲ觀測セシモノヲ參考ノタメ附記ス

一、開聞岬屋久島間横斷觀測

横斷觀測ハ前年ト同シク開聞岬ヨリ屋久島間ヲ横斷シ十五年二月同十月ノ二回觀測セリ（毎月一回觀測ヲ例トスルモ鯉漁業試驗中ハ每航表面水温ノ觀測ヲ爲シ其他漁業試驗ノ際ニモ表面水温ノミハ常ニ觀測セルト一面船線ノ都合ニヨリ横斷觀測ハ省畧セリ）

大正十五年十月三日

照 洋 丸

位置	日	時	氣温	水					比					透明度	潮向速	風向力	雲量							
				表面	一五米	五〇全	一〇〇全	平均	表面	一五米	五〇全	一〇〇全	平均											
A	三	前	九.〇〇	二三.五	二五.七	二五.五	二三.〇	一七.九	一六.六	二二.七	二四.七	二四.七	二四.〇	二三.三	二三.〇	二五.七	二五.三	二五.三	等	一八.〇	北	北	三	〇

計	U	C	B
全	全	全	全
二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
三、三	三、三	三、三	三、三
三、五	三、五	三、五	三、五
三、八	三、八	三、八	三、八
三、九	三、九	三、九	三、九
三、〇	三、〇	三、〇	三、〇
三、一	三、一	三、一	三、一
三、二	三、二	三、二	三、二
三、三	三、三	三、三	三、三
三、四	三、四	三、四	三、四
三、五	三、五	三、五	三、五
三、六	三、六	三、六	三、六
三、七	三、七	三、七	三、七
三、八	三、八	三、八	三、八
三、九	三、九	三、九	三、九
四、〇	四、〇	四、〇	四、〇
北	北	北	北
東	東	東	東
〇	〇	〇	〇

本觀測ハ別圖ニ示ス如ク水温ハA點ヲ離レテハ二十六度以上トナリ下層モ略ホ之ニ併行セルモ開閉岬ニ近キA點七十五米層ニハ十七度線ノ潜在ヲ見ル比重ハ水温列ト反對ニA點ヨリC點南迄ハ二五五以内ナルモD點ニ近キテハ二五五以上トナリ南ヨリ北ニ低ク下層ハ二五七以上ニテ蔽ハレC點下レハ二六〇以上ヲ見ルナリ此形勢ヲ按スルトキハ沿岸水ノ勢力ハ未タ發達ノ徴ナク暖流ノ餘影猶其ノ勢力ヲ示セルモノニシテ鹿兒島灣内定點ノ觀測ト順應スルヲ見ルナリ

一、鹿兒島灣内定點觀測

(大正十五年)

本調査ハ鹿兒島灣内ノ海水變化ト漁況ノ關係ヲ知ルタメ鹿兒島港外神瀬沖ノ同一地點ニ於ケル周季的ノ海洋變化ヲ調査スルニ在リテ本海灣ハ外洋ノ附屬海トモ稱スヘキ地位ニ在リ此變化ヲ基礎トシ外洋ノ變化ヲモ推知シ得ル便アリ毎月三回ヲ標準トシ本年度中ニ三十三回觀測ヲ爲セリ

氣 溫 一月中旬十八度ノ高温アリシモ下旬低ク七度ヲ見二月中ハ稍ヤ高カリシモ猶低温ニシテ三月ニ入り十四乃至十七度后漸次高温トナリ五月下旬ヨリ急上リ九月上旬最高三十一度五ニ達シ后下降シ十二月下旬最低五度ヲ見タリ

表面水溫 一月ヨリ四月ハ十五度乃至十六度五ノ間ヲ上下セシモ五月上旬ヨリ高騰シ八九月中ハ二十八度六乃至二十九度九ノ高温トナリ后下降シ十二月下旬十六度三トナレリ

種別	大正十五年		全十四年		全十三年		全十二年		全十一年	
	示度	月日	示度	月日	示度	月日	示度	月日	示度	月日
表面水溫	最高	一九、九	一九、〇	八月二九日	二〇、〇	八月三十一日	一九、二	八月二十日	一九、〇	八月一日
	最低	一五、〇	一四、九	三月六日	一五、四	三月一日	一五、五	一月二十三日	一五、五	一月二十七日
		一月二十五日								
		二月五日								
		二月廿五日								
		三月								

下層水溫 水深五十米層ノモノヲ見ルニ一月ヨリ四月ハ十五乃至十五度七ノ間ニ在リ后高騰シ九月ヨリ十月中旬迄割合ニ高ク二十一度乃至二十四度五ノ間ニ在リ后下リテ十二月下旬十六度七トナレリ

種別	大正十五年		全十四年		全十三年		全十二年		全十一年	
	示度	月日	示度	月日	示度	月日	示度	月日	示度	月日
下層水溫	最高	三、五	三〇、五	八月九日	二四、〇	八月三十一日	二三、〇	七月五日	二四、八	九月五日
	最低	一五、〇	一五、〇	四月六日	一五、五	三月一日	一五、二	一月九日	一五、六	一月二十七日
		九月二十三日								
		二月二日								
		四月五日								

表層比重 一月ヨリ六月下旬迄ハ二五乃至二六ニシテ后下リ二四トナリ十月中旬二五ニ上リタルモ同下旬及十一月上旬ハ二四ニ下リ同中旬ヨリ十二月下旬迄ハ二五ニ上レリ

種別	大正十五年		全十四年		全十三年		全十二年		全十一年	
	示度	月日	示度	月日	示度	月日	示度	月日	示度	月日
表面比重	最高	二五、九二	二六、〇三	三月六日	二七、九三	三月二十七日	二五、二	一月九日	二六、四三	二月二十五日
	最低	二四、二八	二五、七五	八月十日	二五、七	五月十日	一五、二	七月二十日	二五、九三	八月一日
		四月二十三日								
		七月六日								

下層比重 水深五十米層ノモノヲ見ルニ一月ヨリ八月上旬迄ハ二五乃至二六ナリシモ八月中旬九月中旬ハ二四ニ下リ其他ハ常ニ二五ヲ示セリ

海水透明度 一月ハ八尋ナリシモ二月后十乃至十三尋トナリ三月后同下旬十尋ニ低下シ五月中旬迄ハ七尋五乃至八

尋ノ間ニ在リ五月下旬ハ最高十七尋ヲ示シ六月下旬ヨリ八月中旬迄ハ八尋乃至十尋トナリ四月下旬以降十月中旬迄ハ常ニ清澄シ十尋乃至十四ヲ示シ同下旬以降ハ低下シ十二月下旬迄ハ六尋五乃至九尋ノ間ニ在リ

以上本年中ノ観測ヲ本観測開始以來昨年度迄ノ平均ヲ以テ平年トシ之ト比較シ又昨年ノモノト比スルトキハ表面水温表面比重海水透明度ノ差ハ次ノ如シ氣象ハ日々ノ變化多キニ拘ハラヌ観測回数少キヲ以テ鹿児島測候所ノ観測ヲ掲ケタリ即チ之ニ由レハ氣象ハ殆ント各月ニ亘リ日照多ク表面水温ハ八月乃至十月殊ニ高ク同比重ハ概シテ高比重多ク海水透明度ハ六月ヨリ九月ニ至ル間割合ニ清澄ナリシコトヲ見ルナリ

月別	氣象			表面水温			透明度		
	平年	昨年	比	平年	昨年	比	平年	昨年	比
一月	低	少	多	低	低	濁	濁	濁	濁
二月	高	多	多	高	低	清	濁	濁	濁
三月	低	多	多	高	低	清	濁	濁	濁
四月	高	多	多	高	高	濁	濁	濁	濁
五月	低	少	多	高	高	濁	濁	濁	濁
六月	高	少	多	高	低	濁	濁	濁	濁
七月	高	少	多	高	高	清	濁	濁	濁
八月	高	少	多	高	高	清	濁	濁	濁
九月	低	少	多	高	高	清	濁	濁	濁
十月	低	多	多	低	高	濁	濁	濁	濁
十一月	低	多	多	低	高	濁	濁	濁	濁
十二月	低	少	多	低	低	濁	濁	濁	濁

本表ハ比較ヲ容易ナラシムルタメ水温一度未滿比重零下第四位ノ透明度一尋未滿ノ差ハ表示ヲ省ケリ

暑熱ト暖流ト漁况 本年三四月灣外七島漁場ニテハ前年ニ比シ暖流北上ノ強勢ナリシモ灣内ニハ未タ影響ナク其勢ノ現ハレタルハ七月中旬后ニテ氣温上昇シ暑熱加ハレル季間ナリ鹿兒島測候所カ大正十五年ノ暑トシテ記述スルモノニ由レハ

今年ハ春以來氣温ハ一高一低常ナラス殊ニ六月ハ氣温著ルシク低ク梅雨明ケ后即チ七月中旬ヨリ八月ニ亘リ高氣壓ハ小笠原島附近ヨリ沖繩列島ニ擴張シ全ク夏季ノ狀態ヲ發揮シ殊ニ本年ハ珍シク颱風ノ出現少ク旱天打續ケルタメ氣温ハ連日平年ヨリ高ク八月ノ平均氣温ハ二十七度九ニシテ當所創立以來第三位ヲ示シ最高極温ハ八月七日三十五度一ヲ現ハシ創立以來第六位ヲ示シ八月中ノ降水量ハ百三耗ヲ測リ第十一位ヲ示シ之ヲ要スルニ本年夏季ハ當地方トシテハ可ナリノ雨量ヲ測リ大旱拔ト云フ程ニアラサリシモ高氣壓カ平年ヨリ沖繩列島ニ擴張シ滯留セシコト多ク晴天打續キ颱風襲來少キタメ斯ル高温ヲ呈シタルモノナラン

此暑熱ニツレ灣内ハ七月中旬ヨリ高水温高比重ノ傾向ヲ呈シ海水モ清澄勝ニシテ作年ヨリ一ヶ月ヲ後レタル十月中迄モ其惰性ヲ存シ如斯海況ハ既往八年間ニハ稀ナル例ナリ

同期ニ於ケル灣内漁業ハ影響スルトコロ多ク芒蕉旗魚流網ノ不漁垂口直鱸ノ漁獲減少及其蓄養中ノ斃死ヲ出セルコト多キハ高水温母水清澄ノタメニ起因シ之カタメ好影響ヲ見タルハキワタ鱸ノ入込多ク釣網共ニ近年稀ナル豊漁ヲ見タリ前年ニ於テ灣口其他各地ノ秋冬間ノ濁目鱸不漁ナリシモ本年同季ハ好況ニシテ十二月ニ於テハ灣口ニ於テハ極メテ豊漁ナリシハ例年ニ比シ暖流ノ影響ハ多カリシモ雨量ノ前年ヨリ多カリシコトカ有利ナリシモノト察セラル、ナリ本年鹿兒島灣口ニテ濁目鱸ノ最モ好漁ナリシ季ノ漁場ヲ觀測セシモノヲ參考ノタメ左ニ掲ク

鹿兒島灣定點觀測

(大正十五年)

104

觀測日時	氣候		風向		氣溫		水溫		比重		潮向速	水色	透明度	記	事
	天候	風向	風力	氣溫	表面	1.5米	1.5米	1.5米	1.5米	1.5米					
一月十四日	晴	北東	一	一六.五	一六.五	一六.〇	一五.九	一五.七	一五.七	南	緩	四	八.〇	附近タレクチキビナク漁多シ	
同 廿二日	曇	北	二	一七.〇	一五.〇	一五.〇	一五.〇	一五.〇	一五.〇	北	全	四	八.〇		
二月 二日	晴	北西	一	一五.五	一五.五	一五.六	一五.〇	一五.〇	一五.〇	南	全	四	一三.〇	大羽イワシ好漁ナリタレクチ少シ	
同 十二日	晴	東	一	一五.〇	一五.〇	一五.二	一五.一	一五.一	一五.一	全		四	一一.〇	大羽イワシ好漁タレクチモ好漁ナリ	
同 廿五日	晴	南西	一	一八.五	一五.五	一五.五	一五.八	一五.四	一五.四	北	全	三	一〇.〇	タレクチ小漁	
三月 二日	晴	西	二	一七.〇	一五.五	一五.五	一五.七	一五.七	一五.五	南	急	四	一三.〇	月明季ニテタレクチ漁ナシ	
同 十二日	晴	南	二	一五.五	一五.〇	一五.〇	一五.〇	一五.〇	一五.〇	北	緩	四	七.五	古江高須方面タレクチ好漁ナリ	
同 廿三日	晴	北西	二	一四.〇	一五.〇	一五.〇	一五.七	一五.五	一五.三	北	急	四	一〇.〇	タレクチ少シ谷山沖大羽鰻漁アリ	
四月 五日	晴	北	一	一七.〇	一六.〇	一六.〇	一五.七	一五.七	一五.五	南	緩	四	八.〇	タレクチ少漁	
同 廿二日	晴	〇	一	一六.〇	一六.五	一六.五	一五.九	一五.五	一五.五	南	緩	四	六.〇	同キヒナコエハノ少漁アリ	
五月 五日	晴	南東	一	二二.〇	一八.五	一八.五	一七.〇	一七.〇	一七.〇	南	緩	四	八.〇	古江高須方面鰻漁アリ	
五月 十五日	晴	南	一	一八.〇	一八.五	一八.五	一七.五	一七.五	一七.五	全		四	七.五	鰻少漁	
同 廿四日	晴	東	一	二四.五	二〇.〇	二〇.〇	一九.七	一九.七	一九.九	全		四	一七.〇	月明季不漁トナル	

同 廿五日	同 十五日	十月 六日	同 廿三日	同 十四日	九月 三日	同 廿六日	同 十八日	八月 二日	同 廿四日	同 十五日	七月 六日	同 廿五日	同 十六日	六月 二日	
曇	曇	曇	晴	曇	曇	晴	曇	晴	晴	晴	曇	曇	晴	晴	
南一	南一	南一	南一	北東一	北西二	北東	西	南	南東一	南西一	西南西一	南東一	北東一	北西一	
二二〇	二二二	二二五	二二五	二〇〇	二二五	二二〇	二〇〇	二〇〇	二七五	二六〇	二六〇	二七二	二五〇	二二五	
二二八〇	二二五〇	二二六〇	二二八〇	二二七〇	二二七〇	二二九〇	二二八〇	二二八〇	二二七〇	二二八〇	二二八〇	二二八〇	二二八〇	二二八〇	
二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	
二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	
二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	
二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	二二二〇	
ナシ	北	ナシ	全	全	南	南	北	南	全	全	全	全	南	北	
ナシ	北	ナシ	全	全	南	南	北	南	全	全	全	全	南	北	
ナシ	北	ナシ	全	全	南	南	北	南	全	全	全	全	南	北	
六五	一〇〇	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	
月明鯉流ナシイカハ小流	鯉少流鱈魚不流鮪ハ引線好流附近イカ流アリ	イワシ流アリ垂水方面鮪流アリ 灣口ノ鮪餌付モ始ル少流アリ	ワルメ流アリ	カシキ流弗々アリ	ワルメ、キヒナニ、アチ流アリ灣内	ノタレチ混ス	キヒナニ、ワルメ交リアリ四五寸大	月明季鯉不流	イワシ、アチ、キヒナニ少流タコ流アリ	鯉不流タチ少流	鯉少流谷山方面タチ、タコ流アリ	キス、タチ流始マル	鯉少流喜入方面鯉流アリ	鯉少流附近小タヒイサキ流アリ	鯉稍ヤ好流垂水方面鯉流アリ

同	十一月六日	晴	南一	二〇九	二二五	二〇五	一九五	一八三	南緩	六、五	鯷漁可ナリ魚体大形トナル
同	十五日	曇	西一	二〇五	二〇九	二〇九	二〇九	一九七	北全	九、〇	鯷餌付少漁ナリ
同	廿九日	晴	北西三	二〇五	二〇九	二〇九	二〇九	一九七	北全	九、〇	イソシ、アチ漁アリ
十二月七日	曇雨	南二	二〇五	一九〇	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	南緩	七、〇	イソシ、アチ漁アリ鯷餌付ノモノハ小形ナリ
同	十五日	北二	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	北全	九、〇	灣口ニウルメノ好漁アリ
同	廿七日	曇雨	北一	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	二〇五	南全	九、〇	同

其他ノ観測

潤目鯷漁場 十五年十二月十二日山川港外水竹バラト稱スル漁場ニテ観測セリ

十五年	七月	表	面	三十八米	七十五米	記	事
十二月十二日	日	水温	一九、三	一九、〇	一八、七	當日曇天北々西風透明度十四尋	
后一時五十分							

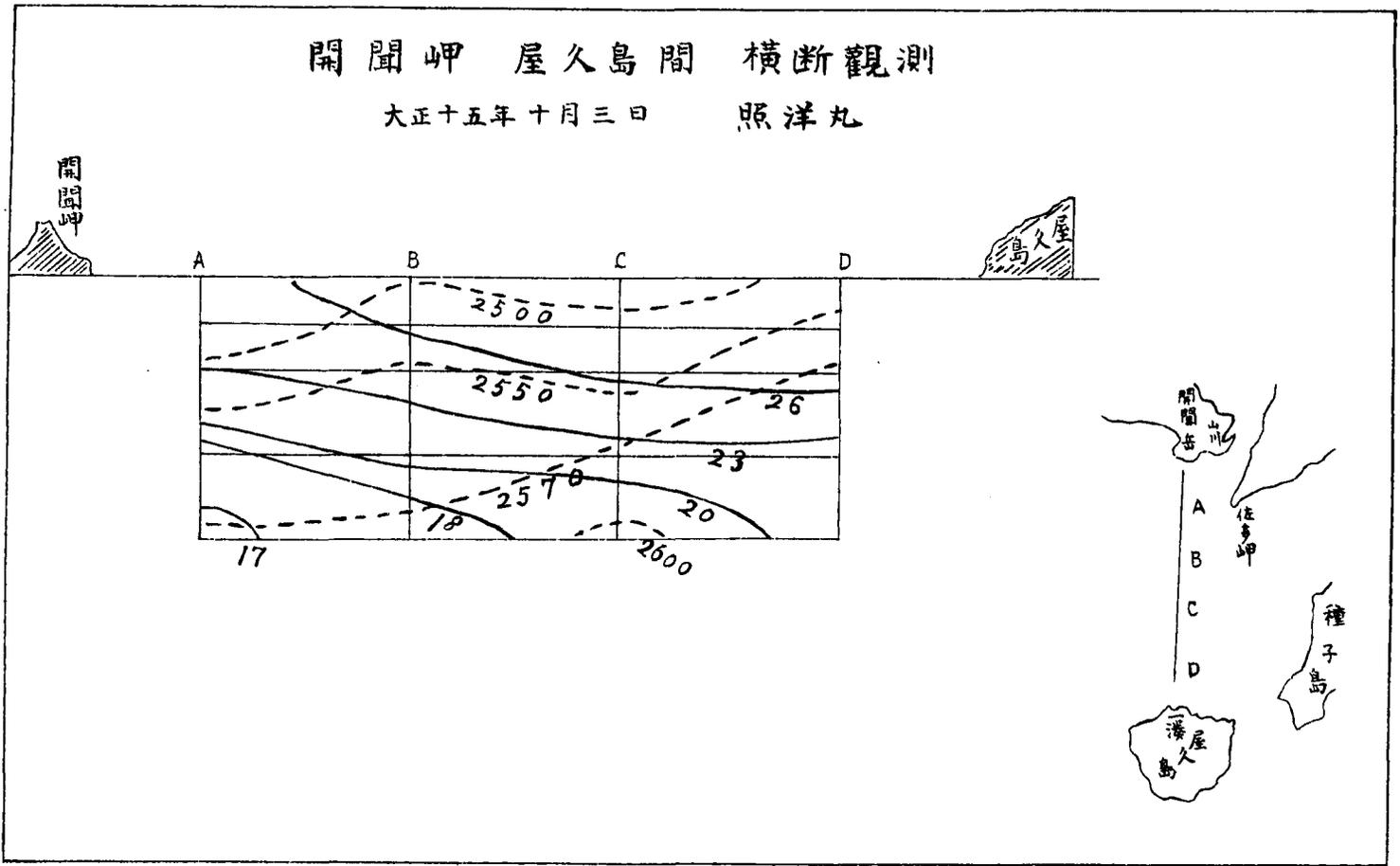
観測日ノ前後トモ潤目鯷大漁ニテ當日モ八田網ニテ一回ニ七千斤ノ漁獲アリタリ

鯷餌付漁場 十四年度中ニ観測シタルモ報告漏ニ付次ニ掲ク

揖宿郡指宿村 多良 曾根	流場名	月	日	表	面	二十五米	五十米	記	事
		十四年	十一月廿四日	水温	二〇、〇	二〇、〇	二〇、二		昨今一日百尾位ノ漁アリ魚体小ナリ透明度八尋半
				比爾	三三、八	三三、三	三三、六		

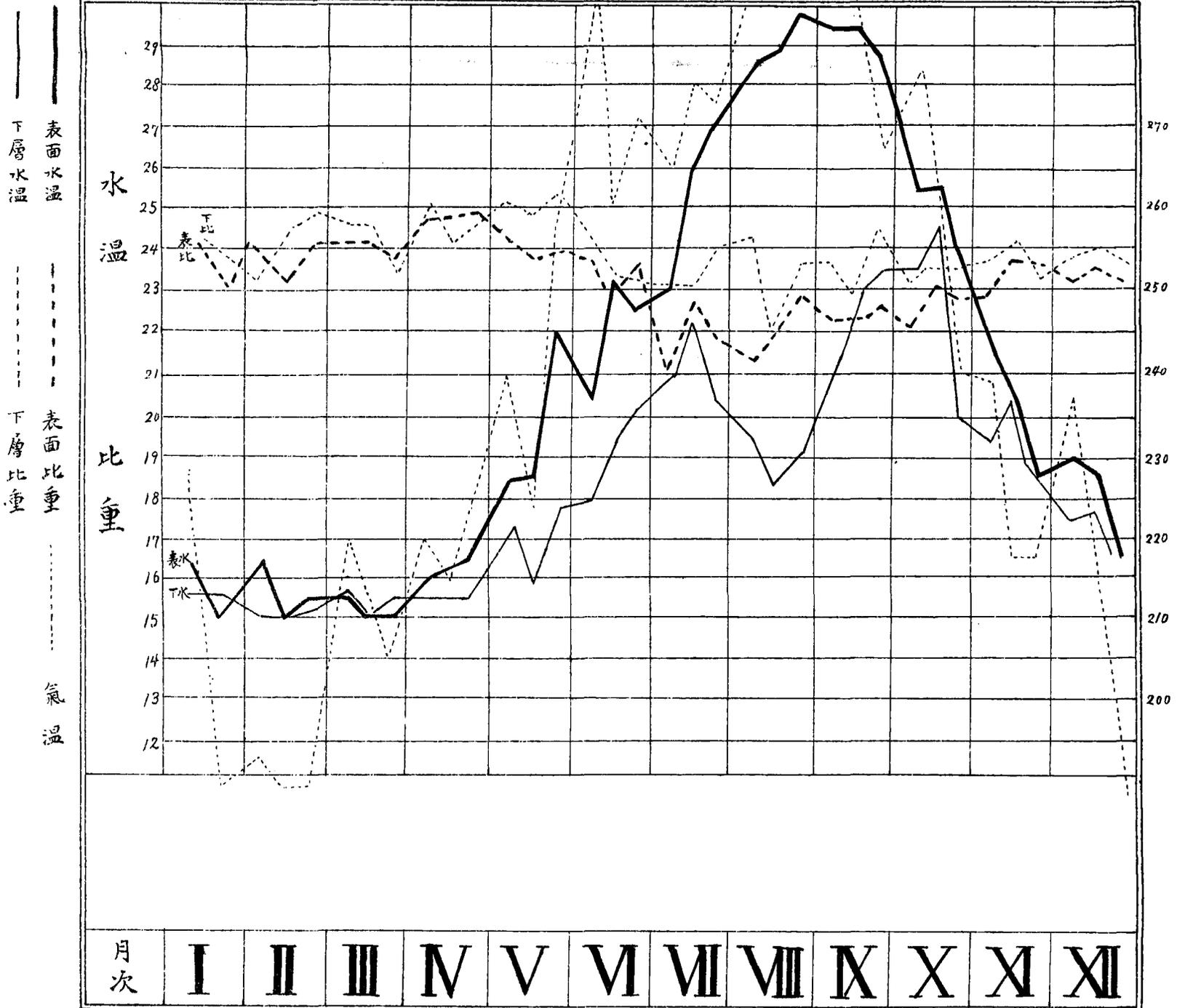
開聞岬 屋久島間 横断観測

大正十五年十月三日 照洋丸

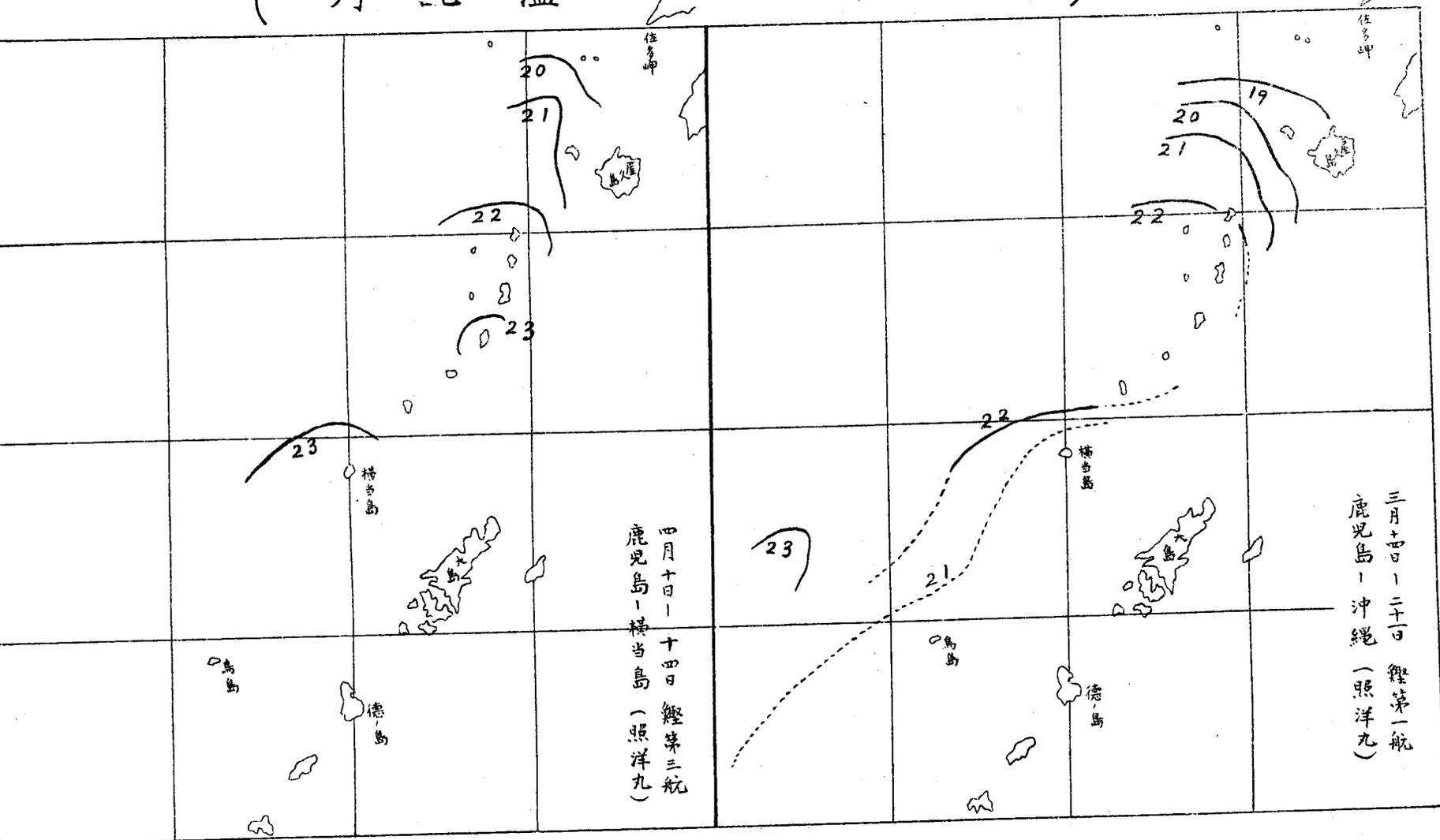


鹿兒島湾内定英観測

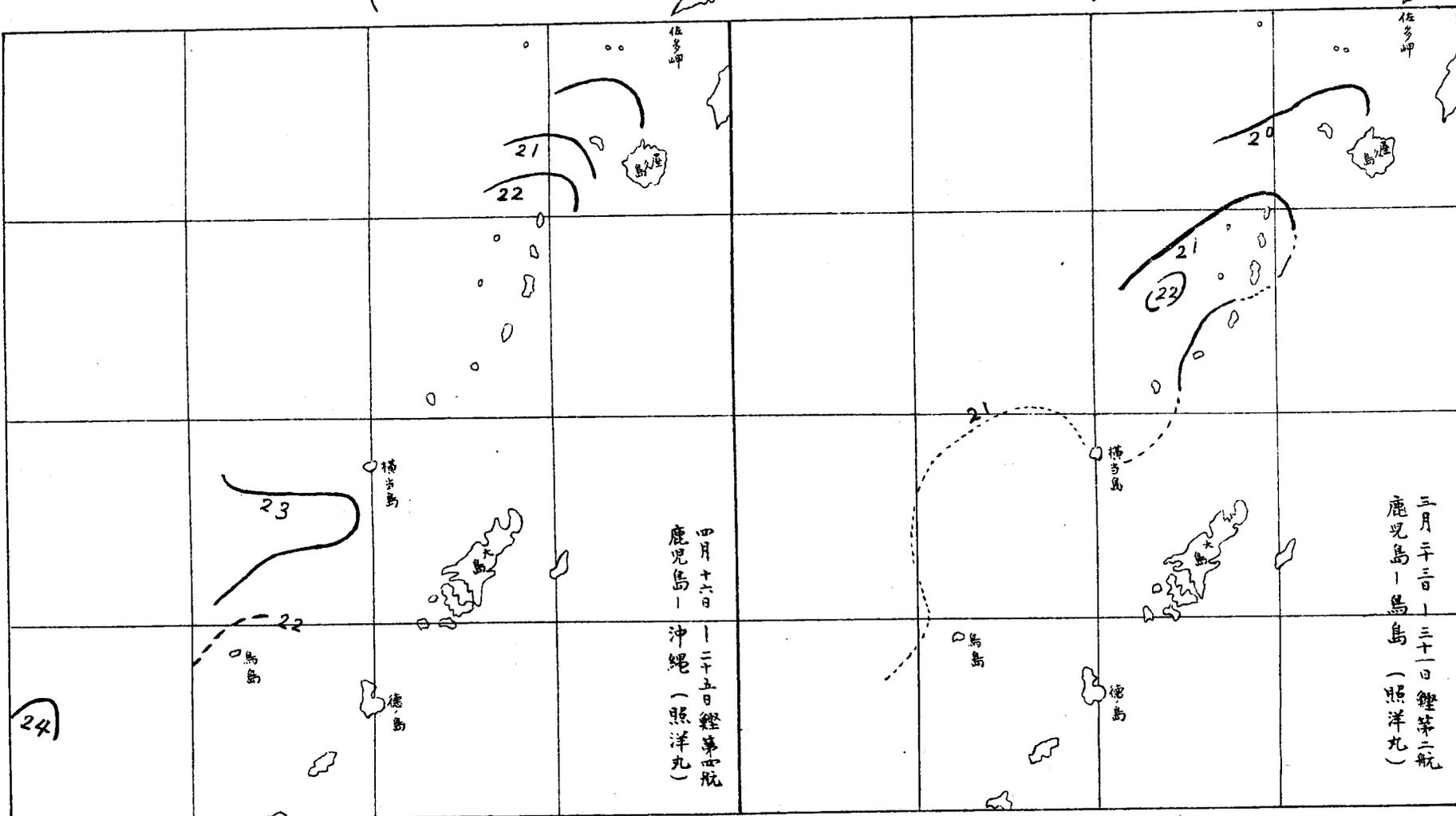
神瀬沖 大正十五年



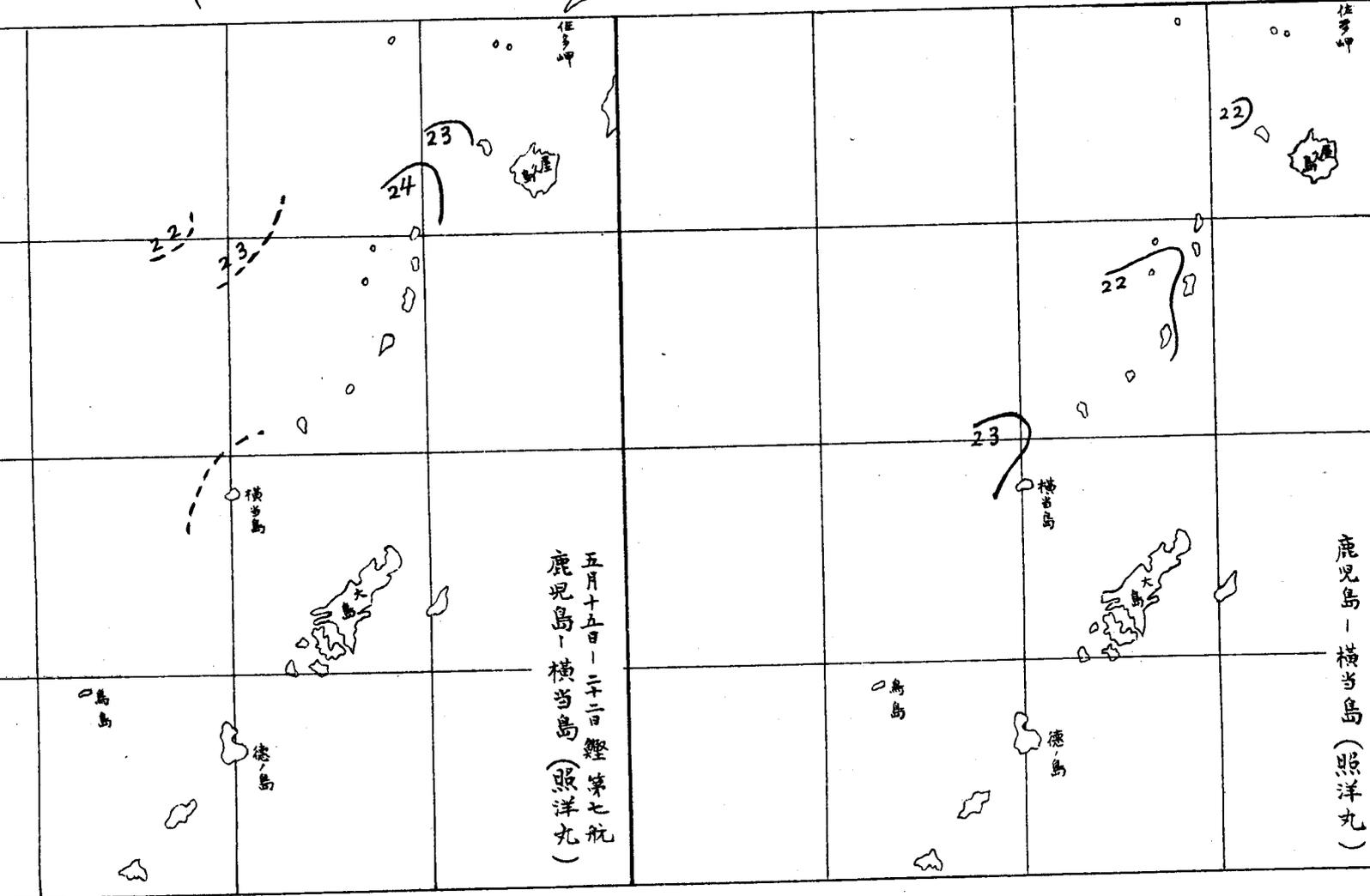
(列 記 温 水 面 表)



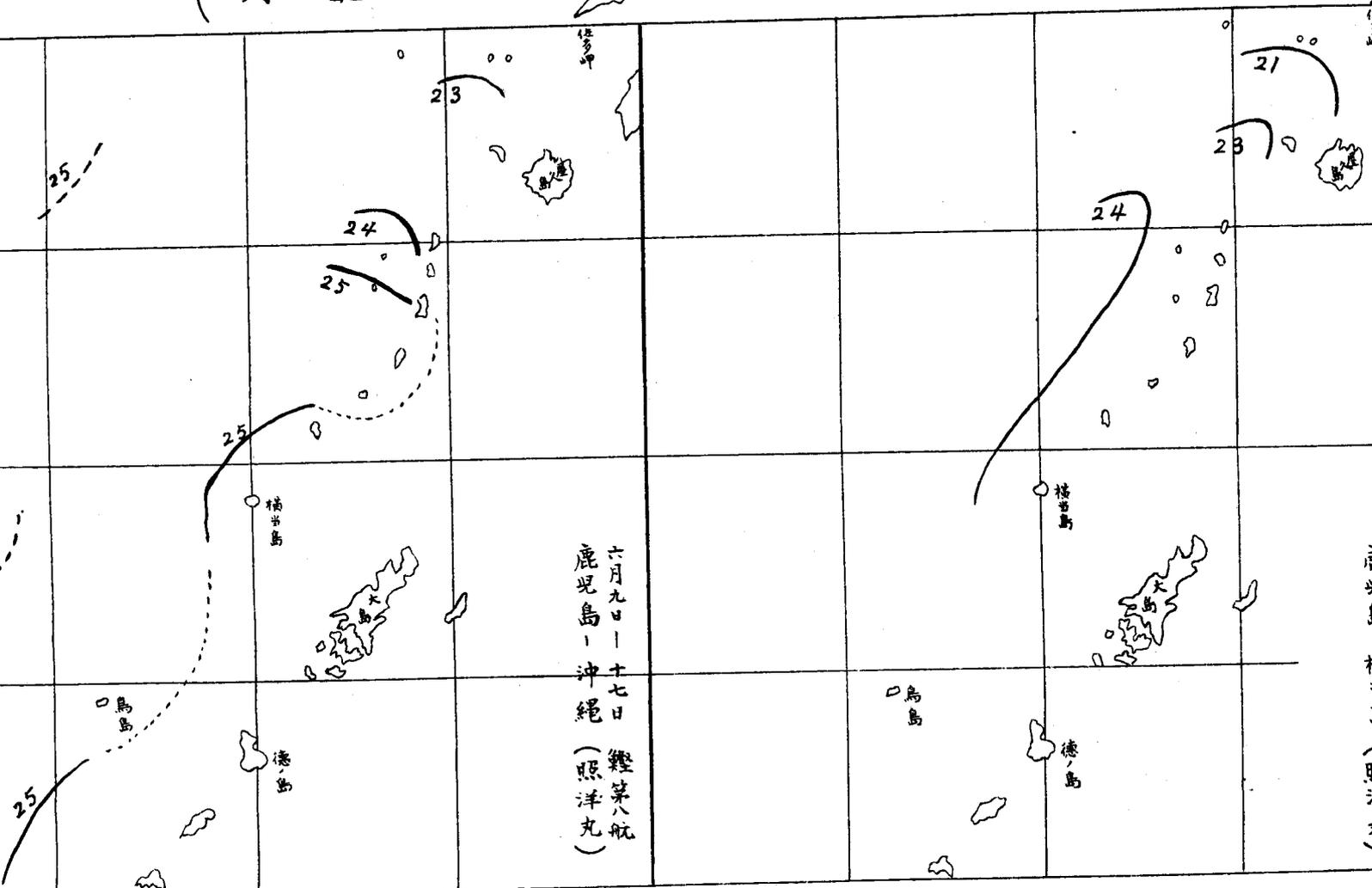
(列 配 温 水 面 表)



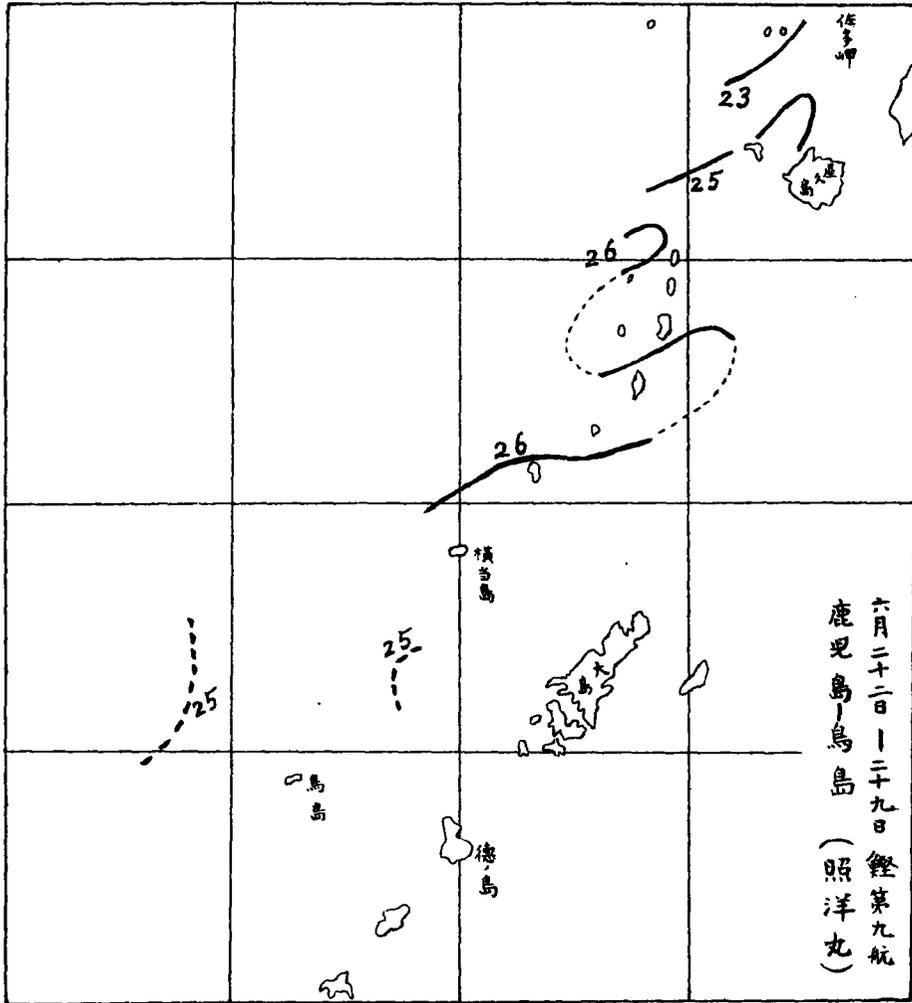
(列 配 温 水 面 表)



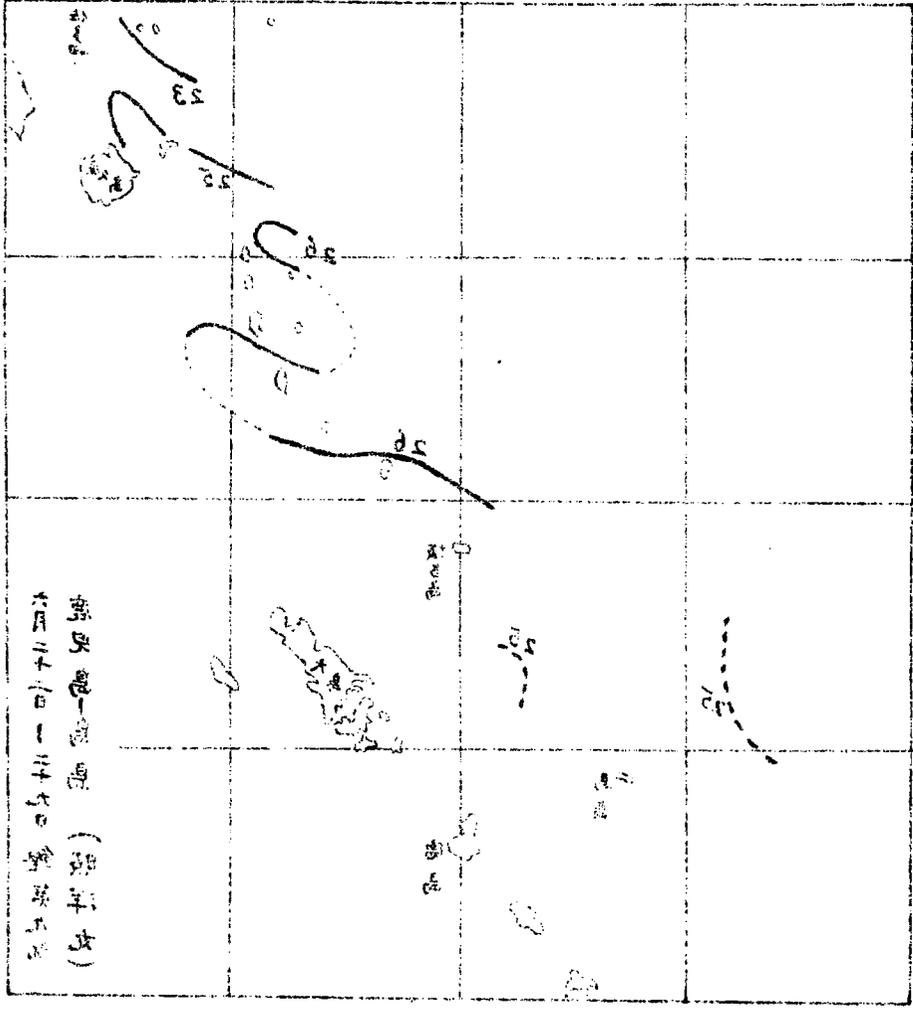
(列 配 温 水 面 表)



(列 配 温 水 面 表)



(瀬 戸 水 面 図)



瀬戸内海一帯 (瀬戸内海)
 大正十一年一月一日

講習指導

鯉節製造講習

鯉節製造職工養成ノ目的ニテ大正十五年四月一日ヨリ七月末日迄川邊郡枕崎町本場附屬製造場ニ於テ製造試験ノ傍男四名女二十五名ヲ收容講習ヲ爲シ修業生氏名左ノ如シ

住所	氏名	住所	氏名
川邊郡枕崎町	久保 幸之助	同	立石 クニエ
同	吉 永 明治	同	山 神 キタ
同	山 神 未盛	同	神 園 アツエ
同	加 治 幸三郎	同	上 釜 トミ

同 梶 山川村	同 同	水 温	二〇、一	當日潮流南東ニ急ニシテ漁獲ナシ 一時不漁ナリシモ四五日前ヨリ大鯽二百位ノ漁アリ潮 向南東ニ變リタルタメナル如シ 潮流南東急流ナリ一日二三尾魚体小ナリ
同 同 穎姪村 キタカ 曾根	同 同	水 温 比重	三三、一 二五、六	
川邊郡枕崎町 阿知 曾根	同	水 温	三三、一	
同	同	水 温	二〇、〇	

石原 勇	馬場 親夫	中間伊三郎	宮下 士農
小川 景雄	前田 哲夫	外園 利吉	鶴丸 市藏
鹽田 行之	庵地 榮二	鹽田 忠志	宮内 元司
純浦 淺男	西園 喜八郎	外園 嘉市	

末廣乾製造 昭和二年一月中五日間薩摩郡水産會ノ主催ニカ、ル同郡下蘭牟田ノ講習會ニ技術員ヲ派遣シ左記十六名ニ講習ヲ爲セリ

小 林 繁	中 川 達	中 村 助衛	濱 田 優
橋野 助・德	城山 未友	鹽釜 直助	鹽釜 ハツミ
中園 喜一	中村 源六	中村 德行	中 川 諭
梶原 猶光	梶原 ユリ	中野 シヤ	中野 キヨ

節製造場改築指導

本年度營業者ノ要求ニヨリ經節製造用焙乾室煮熱竈ノ改築指導ヲ爲セシモノ左ノ如シ

焙乾室三、	聯竈一、	單竈一	川邊郡枕崎町	今井 嘉市
同 三、	同 一、			林 新太郎
同 三、	同 一、			安達 英二
同 四、	同 一、			濱崎 十五郎
聯竈 一、	單竈 一			田代 正盛

各種製造實技講習、節製造場改築指導

同	笠佐村片浦	石原林吉	肝屬郡内浦村	加藤信二
川邊郡枕崎町	町頭光徳	日置郡串木野村	中尾榮治	
同	味園龜太郎	同	久保豊志	
同	町頭勝	同	下中戸助	
同	渡邊小内	同	新川勇吉	
日置郡串木野村	前瀧靜橘	同	山口良之助	
同	長倉清志	同	宮崎清志	
同	松元重吉	同	久永諭	
同	久保美代志	揖宿郡喜入村	上久保豊	
同	中尾榮次	同 山川村	篠原戸吉	
同	前村顯造	肝屬郡内浦村	川野貞義	
鹿兒島郡谷山町	山下操	同	滿石親夫	
同	小倉助之丞	大島郡西方村久慈	喜山田一郎	
同	市木龜夫	同 鎮西村諸友	嘉清治	
揖宿郡顯娃村	平峰清十	同 宇檢村屋鈍	鳥入廣垣	
同 山川村	末吉邦義	肝屬郡垂水村	森山休助	

漁船丙種運轉士試験

昭和二年二月十二日ヨリ同十五日迄川邊郡枕崎町ニ於テ熊本遞信局長崎海事部ニ依頼シ臨時船舶職員試験ヲ求メ志願者二十一名中体格不良一口述試験二十名ノ内合格シタルモノ左記十一名ナリ

住 所	氏 名	住 所	氏 名
川邊郡西南方村久志	石場盛吉	同	吉見篤
同	中村榮三	同	中村岩太郎
同	中村盛吉	同	田畑長次郎
同	山下三太郎	同	城戸勝吉
同	平尾貞藏	同	井手山利助
同	城戸彌三郎	同	渡瀬龍次郎

南洋ノ鯉漁業

目次

南洋バラオ列島

鯉鮪釣漁業 ソンソル島ノ鯉鮪漁業 其他ノ漁業

一三三

蘭領東印度諸島

バルマス島 タラオ島 サンギ列島 セレベス島 (メナトヨリケマ、メナトヨリボール沖

一三六

ケマ附近、土人ノ鯉釣セーロー漁業) アンボン島 タルナテ近海

菲律賓近海

バタン海峽ヨリ呂宋、ナムア近海、ミンダナヲ島南部、サレボアンガヨリバナイ

一三八

ミントロ島西岸、マニラ灣、附擬餌釣

航海日誌、漁場航路圖

一三二

原耕氏講演概要

一四一

南洋ノ鯉漁業

本縣ニ於ケル鯉漁船ハ前年七八十噸ヨリ百噸級ノ漁船ヲ使用スルニ及ヒ從來ノ漁場範圍ハ擴大シ既ニ南進シ南北大東島ヨリ台灣南部ニ出漁ヲ見ルニ至リシモ其漁獲ハ漁業規模ノ擴大ニ必シモ併行スル能ハス何人モ更ニ長驅シ南洋方面ニ新漁場ヲ求ムルノ必要ヲ認ムルモ距離達ク風土異ルノミナラヌ漁場ニ對スル調査資料モ殆シク備ハラサルタメ實行容易ナラサルヲ怨ミツ、アリシニ川邊郡枕崎町ノ漁業家原耕氏夙ニ志ストコロアリ所有船第一第三千代丸ノ二隻ヲ率ヒ自ラ南洋鯉漁業ニ着手スルコト、ナリ昭和二年六月二日鹿兒島港ヲ發シ我委任統治ニ屬ズル西カロリン群島菲律賓蘭領東印度諸島ニ出漁十一月二十五日鹿兒島港歸着其間本場ヨリ助手岸良精一ヲ派遣便乗セシメタルヲ以テ其復命ノ概要ヲ以下記述スヘシ元ヨリ南洋ノ鯉漁業ニ適スル區域ハ猶甚タ廣ク其ノ全般ニ亘ルコトハ短日月ニ爲シ能ハサルトコロナルモ本漁船隊ノ徑由スルトコロ幾多ノ好漁場ニ遭遇シ相當ノ漁獲ヲ爲シタルヲ以テ本報告ハ今后出漁者ノ好資料タルヘク蓋シ原耕氏ノ卒先セル努力ニヨル賜モノシテ深ク同氏ニ敬意ヲ表スルトコロナリ

南洋パラオ列島

パラオ列島ハ我カ委任統治ノ西カロリン群島ニ屬シバベルダオブ、ペリリウ、アングアールノ外多數ノ珊瑚礁ノ集リニテ東經百三十九度北緯七度二十分ノ所ニ在リ中央コロル島ニ南洋廳アリ内地人モ多數居住セリ本船ハ初メ同地近海ノ漁業ヲ目的トシ六月十八日西表島ヲ發シ菲律賓東岸ヲサムア島ニ至リ同島ヨリ轉針六月二十九日パラオ港着同近海ニ漁業シ八月十日迄滞在セリ同地迄ノ距離ハ鹿兒島灣口ヨリ南四分三東約千五百哩アリ其海岸ハ珊瑚礁ヨリ成リ近海ニ見ル魚族ハ熱帶性ノモノ多ク沖繩近海ニハ類似スルモ内地トハ全ク趣ヲ異ニセリ

鯉鮪釣漁業

本島ニテ前年大洋水産株式會社カ約六噸入馬力ノ小漁船ニテ鯉鮪釣漁業ニ着手セシモ餌漁業ノ準備整ハス漁未亦技術劣リシダメ失敗シ現在ハソソール島ニ於テ土人ノカノーニテ漁獲セルモノヲ購入シ節製造ヲ爲スニ過キヌ

バラオ島近海ニテ常ニ鯉群ノ回游スルハ環礁ノ入口及各島間ノ水道ニシテ鮪ヲ交ヘ七月十六日カメゲー水道ノ漁獲ハ鯉十五鮪四十五尾同十七日西水道ニテ鯉六十鮪七十五尾ヲ得タル如ク却ツテ鮪ノ多キヲ見ルコトアリ環礁ノ外圍ハ礁ニ近ク小魚ヲ遂フ魚群ヲ見ルコトアルモ多カラス今回ノ調査ニヨレハ本島近海ノ鯉漁場トシテハ西側ノバラオ西水道アルカルン島附近カメゲー水道ヨリガルアングルリーフ、ガジヤングルリーフ附近東岸ハマラカル水道ヨリ南下シベリリユー島アングウル島ニ至ル各礁間ノ水道附近ニテバベルダンオブ島東側ハ水道少キニヨルカ割合ニ魚群少シ鯉鮪群ノ最モ多ク回游スル時期ハ滯島四十余日ノ經驗ニテハ斷定シ難ク航海業者及島廳當局等ノ說ニヨレハ春季ハ二月秋季ハ九十月ニ多ク四五十一月之ニ亞キ一六七八月ハ魚群最モ少シト謂フ本島ノ氣温ハ三月ヨリ九月ハ南西信風季ニテ雨季トナリ十月ヨリ二月ハ北東信風季トナリ乾燥季トナル例ニシテ鯉群ハ南西信風季ニ少ク北東信風季ニ回游多キヲ見ルナリ

鯉釣餌ニ用フヘキ小魚類ハ甚タ多キモ其習性異ルタメ始メ携帯セル小地曳網及小敷網ニテハ漁獲困難ニシテ后集魚燈ヲ用フルハ田網ヲ取寄セ使用スルニ至リ各種餌魚ノ漁獲ヲ爲ヌヲ得タリ

タレクチ鯉 内地産ニ比シ肉瘠セ扁平ニシテ沿岸淡水ノ注入スル場所及其附近ノマングローブ樹ノ密生スル水深一尋以内ノ淺所ニ在リ眞鯉銀鯉ト群ヲ爲シツ、アリ

眞 鯉 体長三寸位ノモノ沿岸樹蔭ニ密集セリ深所ニテハ八田網ニテ漁獲サル、モ沿岸ニアルモノハ体形殊ニ扁

平ナリ四五寸以上ノ大羽鯉ハ沿岸ニハ見サルモ深所ノ八田網ニテ漁獲サレ体ハ相當肥滿セルモ内地産トハ稍異レリ

潤目鯧

沿岸ニハ見ヘサルモ七月二十一日コロール島ニテ釣レル平鯧ノ腹中ヨリ得后八田網ニテ漁獲セリ頭部ハ鯧ニ似テ体ハ美白色眼大ナリ肉ハ白軟ニシテ味佳ナリ鯧餌ニ適スト認ムルモ蓄養ニ堪フルヤ其數量等ニ付實驗スルヲ得サリシ

白ダレ

頭形垂口鯧ニ類似スルモ白色ニシテ体側ニ一條ノ金線アリ假ニ白タレト稱セリ沿岸淺所ニ見ス八田網ニテ漁獲セリ群濃厚ニシテ餌料ニ適スルモ鱗薄ク剥脱シ易ク体軟弱ナルユヘ裝釣ノ際死スルモノ多ク寧ロ撒餌トスルニ適セリ二三日ノ蓄養モ困難ナル場合アリテ漁獲ノ際成ルヘク魚体ヲ損セサル様注意ヲ要セリ

キヒナコ鯧

形体眞鯧ノ如ク細鱗アリ頭部小ニシテ尖リ長二寸位ノモノ多數マラカル港内水深二三尺ノ岸邊ニ回遊セリ假ニキヒナコ鯧ト稱セリ八田網ニモ漁獲サレ餌料ニ適スルト認ムルモ多量ヲ得ラル、ヤハ明カナラス

白ザコ、赤ザコ

白ザコハ体白色ニシテ八分乃至一寸二三分位アリ赤ザコハ淡赤色ニシテ二寸位迄ノモノヲ見ル兩種共稍ヤ透明ニシテ外部ヨリ内部骨格ヲ認メ得ヘシ水深七八尋迄ノ珊瑚礁間ニ栖息シ夜間礁ヲ出テ索餌回遊スレ在留沖繩縣ノ漁夫幅四五尋ノ小網ヲ夕刻多數栖息スル礁面ヲ蔽ヒ夜ニ入り魚ハ此間ノ下ヲ潜リ水面近ク浮上シ翌朝舊礁ニ歸ラントシ網ニ遮ラレ自ラ集團ヲ爲ストキ漁夫ハ一齊ニ潜水シテ網ノ中央部ニ追ヒ集メ網ニ載セ引上クル方
法ニヨリ巧ニ漁獲セリ兩種共蓄養ニ堪ヘ鯧餌トシテ良好ナリ

赤鯧

出漁當時赤鯧ノ仔ハ二三寸ニ成長シ漁期ナリシタメ在留沖繩縣漁夫ハ捕獲シツ、アリ晝間ノ作業ニシテ礁間ニ群栖スルモノヲ潜水シテ追出シ礁上ニ網ヲ蔽ヒ更ニ其網上ニ追ヒ集メ漁獲ス本種ハ蓄養ニ堪ヘ鯧餌トシテ餌付良ク裝釣ノ際シコトナク使用ニ便ナリ各種中最モ適當セル餌料ナリ

鯖仔

長三寸大ノモノガスバン波止場ニ多數群ヲナシツ、アリ平鯖ノ仔ニシテ甚シク瘠セタリ漁獲使用スルニ至ラサリシユヘ漁獲量等明カナラス

此他餌料ニ適セサルモハダラ（銀磯鰻）等モ多數栖息セリ一般ニ沿岸ニアル小魚類ハヨク飛躍シ網ヲ入ル、トキ沈子下ヲ潜リ又ハ泥ニ入り之ヲ避クル等行動機敏ニシテ地曳網等ニテハ圍繞困難ナリ又漁獲セルモノヲ網生簞ニ蓄養中逃逸スルモノ多キユヘテニ注意ヲ要スルナリ

集魚燈ニヨル入田網ノ使用ハ餌魚捕獲上最モ利便ナルモ珊瑚礁多キタメ使用困難ナルトコロ多クマラカル港西水道口附近其適所ナリ

鯉節ノ製造ニ付熱帶高温地ナルタメ氷藏ノ必要アルモ未タ漁業用水供給ノ便ナキタメ一日航程ニテ漁業スルノ外ナク之ヲ節ニ製スル場合死后六時間位ヲ最モ適當トシ二十時間モ經過セハ全ク腐敗スルカユヘ製造場ハ出來ル丈漁場ニ近キトコロニ設クルノ要アリバラオ群島中沿岸ニ淡水アルハコロール島ノ海軍淡水補給所ニシテ水質良好製造場ヲ設クルニ適セリ西水道口ノアルモノグヒニ小川アルモ平地ヲ得ルニ難シ其他ハ天水ニ俟ツノ外ナク製造場ヲ設クルニ適セサルナリ

附ソソル島ノ鯉鮪漁業

本島ハバラオ支廳ニ屬シアンガウル島ヨリ南西約百二十哩二ツノ珊瑚礁ヨリ成リ大洋水産株式會社カ南洋廳ノ許可ヲ得漁業ヲ經營シツ、アル處ナリ島民カノーニテホロ曳釣ヲナシ北西岸ヲ漁場トシ多キトキハ四十隻ニ達ス一月ヨリ五月ヲ盛季トシ一日ノ漁獲六百貫ニ上ルコトアリ一ケ年四萬貫ノ産額ナリ會社ハ鯉ハ貫二十五錢鮪二十錢ニ買取リ節ニ製ス鯉三割鮪七割位ニシテメキチモ相當漁獲アリ製造用水ハ天水ニテ乾季ニハ林中ニ井ヲ堀リ半鹹水ニテ製スルコトアリ

本島ニハ最モ鯉多シト聞キ出漁セルモ當時風向急ニ變セル際ニテ投餌セシモ餌付不良ニ了ハレリ島民ノ使用スルホロハ静岡製ノ錫ヲ用ヒタルモノト鯖漕釣用ノモノヲ見タリ

其他ノ漁業

バラオ島ニハ出稼セル沖繩縣漁夫ノ潜水應用ノ網漁業ト一本釣ヲ爲スノミニテ當時刳船二隻アリ南洋廳ハ水揚高ニ應ジ補助金ヲ下附シ一ケ年一萬圓以上ノ漁獲ヲ爲シツ、アリ市場ハ廳所在地ニ個人經營ノモノアリ魚價ハ常ニ一定シ鯉鰯斤二十五錢鰹二十錢瀬魚十五一八錢ニ賣ラレ一日三百乃至五百斤ヲ消化サレツ、アリ

現在需用ノ狀況ニテハ俄カニ雜漁業經營ハ困難ナルモ其漁獲容易ナル種類其他二三ニ付附記スヘシ

瀬魚釣

各群島ノ環礁内ニハ鼻折鯛、アカマス、キジン鯛、クチビ鯛等ノ瀬魚饒多ニシテ釣ヲ投スレハ餌ノ何タルヲ

問ハヌ釣獲サレ本船ハ入田網ノ到着ヲ待ツ間毎夜立繩ニテ瀬魚釣ヲナセルニ漁獲多ク船員ノ喰盡シ得サルコト多ク至期間中三千斤以上ノ漁獲ヲナセリ瀬魚中有毒ノモノ多シト聞キシモ其事ナク安心シテ食用ニ供シ得タリ

鯨釣

沿岸到ルトコロニ多ク夜間入田網使用ニ際シ火付セル鯨ヲ追フヲ集ルモノ極メテ多ク容易ニ釣獲スルヲ得

又島ノ外側ニハ大形ノ三尺以上ノモノ多ク鰭ト見違ヘル程ノモノナリ

平鰾釣

体長尺二三寸ヨリ大ハ二尺位ニ及ヒ多數群ヲナシテ環礁内ニ栖息シ撒餌ヲ爲シ竿釣ニテ釣獲シ得ラル沖繩

漁民一日三四十尾釣獲セルコトアリ

鮪延繩漁

鱧ノ多キタメ被害アルヘキモ魚群多キスヘ延繩漁業ハ有望ナリ

鱧繩延漁

何レノ地ニモ多ク延繩ヲ用フレハ漁獲多カルヘシ六月二十八日夜ガルアングルリーフニテ一本釣ニテ七

八本ノツマシロ鱧ヲ得タルコトアリ

鰻魚

ベリリユ一方面ニ多ク在住者中島氏漁業ニ着手シ土人ノ漁獲セルモノヲ購入シ卵ヲカラスミニ製セルモ高

温ニテ仕上困難ナルタメ長崎ニ送り製了シツ、アリ

蘭領東印度

パルマス島

パルマスハ蘭領東印度ノ東北端ニアル小島ニシテ東經百二十六度三十二分北緯五度三十五分ニ位置シ菲律賓ミンタナ
ヲノ南端ヨリ約八十哩バラオヨリ西徼南四百九十哩ニ在リテ八月十一日バラオヲ發シ同十六日后四時着セリ
島ハ周圍二里遠クヨリ望メハ本縣七島中ノ口ノ島ニ似テ東ニ高ク西ニ低ク椰子樹繁茂シ海岸ハ珊瑚礁ニテ偶砂濱アル
モ汀邊散岩アリ島民ホロニテ鯉ヲ釣ルヲ以テ其北東三哩ニ漁礁アルヲ聞キ土人ヲ水先トシテ出漁セシニ鯨四十鯉七尾
ヲ得タルモ當時魚群多カラス且本島ニハ餌料トスヘキ小魚少ク淡水豐富ナラサルタメ根據地トスルニ足ラス同十九日
本島ヲ辭シタラオ島ニ向フ

タラオ島

タラオ島ハパルマスノ南七十哩ニ在リ本島ハ奄美大島位アリ本島ノ南ニ近クサリハブ島カブラウアン島其他ノ小島ア
リ八月十九日パルマス島ヲ發シ同二十日后四時着島ノ北岸ニテ鯉ノ小群ニ會シ八百匁大ノモノ一尾漁獲二十一日サリ
ハブ島ノ中間ニテ極メテ濃厚ナル鯉群ニ會セシモ持餌ナキタメ釣獲スルヲ得ヌ本船ハメナトニ向フ目的ナリシタメ餌
ノ漁獲ヲ試ムルニ至ラツリシ

サンギ列島

サンギ列島ハタラオ島ノ西南西約八十哩ニ在リサンギ列島ハタラオヨリ稍ヤ小ク其南ニカラマ島カハキタン島シヤウ島其他ノ小島アリ其北方ノ離島ヲ合シ南北約百五十哩間ニ小島離礁散在シ恰モ本縣七島ノ如キ火山系統ノ島群ニシテシヤウ島ハ活火山ナリ首邑タルナハサンキ島西岸中央ニ在リ本列島ノ外タラオ島ヲモ管轄ス此地ニハメナトヘノ汽船便アリ水道ノ設アリ陸上交通モ開ケ在留人ハ兵庫縣人ノ商業ヲ營メルモノ一戸外ニ沖繩縣漁夫七名アリ同漁夫八十馬力ノ發動船一隻ヲ有シ鯉釣ヲナシツ、アリ

列島沿岸ハ鯉ノ栖息多キモ本船出漁當時ハ北方ノ小島離礁ニハ魚群ヲ認メス本島ノ西岸ヨリ南下シカラマ島カハキタン島ニ至ル間多數回游シ内地海面ニ於ケルモノ、如ク活潑ニ游泳シツ、アリシヤウ島ヨリメナトノ間ニモ魚群多カルヘキモ出漁ノ機會ナカリシ餌ハタルナ灣マガニト灣ダゴ灣ニテ八田網ヲ用ヒ鯧赤鯉等ヲバラオ島ト同様相當漁獲スルヲ得タリ鯉群ノ最モ沿岸ニ來ルトキハタルナ灣奥ニ入込土人ノ不完全ナル地曳網ニテ立テ切り二千余尾ヲ漁獲セリト云フ本船ハ氷ノ準備ナキタメ違航スル能ハス沿岸ニ漁業セシモ体量ニ貫込大ノモノヲ漁獲シ小ハ壹斤大ノモノ七百尾モ漁獲セルコトアリ

漁獲セル鯉ハ生賣セシモ其量多カラス節製造ノタメカラマ島ニ煮釜其他ノ設備ヲ假設セシモ全ク淡水ナキタメ后タルナ港ノ民家ヲ租借シ之ヲ移轉シ製造セリ用水ハ屋前堀井アリ不便ナカリシ

セ レ ペ ス 島

蘭領東印度中ホルネオニ次ク廣褒ヲ有シ東經百二十八度四十分ヨリ百二十五度二十分北緯一度四十五分ヨリ南緯五度四十分ニ亘リ東ハモロツカ群島ヲ經ニユーギニヤニ南ハフローレス海ヲ隔テ、フローレス諸島エ西ハマカツサ海峽ヲ挾シテホルネオニ北ハセレベス海ヲ隔テ、菲律賓群島ニ對セリ面積七萬二千哩ニテ我カ本土ヨリ稍小ナリ

一、メナト港ヨリケマ間

メナト港ハセレヘス島東北部ヲ管轄スル政廳所在地ニシテ人口三萬在留邦人三十位外ニ沖繩漁夫ノ出稼セルモノ三十名位アリ雜魚貝採ニ從事ス本港ハ汽船便アリ陸上交通モ發達シ居レリ本船ハ九月二日着港シ初メ此地ヨリ東裏ニ當ルケマ迄ノ間ニ漁業セリ其間小離島アリ北尖端ニ在ルトコロ鯉群多ク土人ノ漁船モ二隻從漁スルヲ見タリ

二、メナトヨリポール沖合

メナト港ヨリポールネオ島ニ至ルセレヘス島ノ北岸ハ燃料油購入ノタメタラカンヘ往復セシ際通過セシニ毎日魚群ニ會シホロ又ハ角釣ニテ二三十尾多キ日ハ七十尾以上ニ及ヘリ魚群ハ鳥付ニテポール燈台附近ヨマカツサル海峽ニ至ル海面ニハ流水多ク從テ當時餌ヲ持合セヌ擬餌ニヨル外ナカリシモ如斯濃厚ナル魚群ニ對シ餌釣スルトキハ滿船ノ漁獲ヲ爲スコト困難ナサラルヘシト思ヘリマカツサル海峽ヲ超ヘホルネホ島タラカンニ近ツクニツレ海水濁シ鯉ノ回游ヲ見サルニ至レリ同期間擬餌釣ニヨリ漁獲セルモノ左ノ如シ

月 日	時	漁 場	魚 種	尾 數
九月十三日	前九時半ヨリ 正午	メナトポール間	鯉	三六
同 十四日	前九時ヨリ 十一時半	マカツサル海峽	鯉 鮪	一七〇
同 十五日	前十時四十分	ホルネオ近海	大 鮪	二
同 十九日	前九時ヨリ 正午	リンガトン燈台 北東二十五湮	鯉	四一

三、ケマ沖

セレハス島ノ北東部メナト港ノ南裏ニ當リ九月七日同所ニ着十月末迄約二ヶ月ニ亘リ當地ヲ根據トシ漁業セリ北ハレ
ンベ水道ヨリ南ベラング島ノ間距岸二十浬以内ニ漁業セシニ毎日鯉群ノ飛躍ヲ見サルナク多キトキ其群十二三ヲ數ヘ
一望鯉群ニテ充サレタル如キ場合屢アリ天候ノ急變セルカ或ハ潮流ノ激變ナキ外常ニ漁業スルヲ得タリ
鯉魚体ハ六七斤ヨリ八斤程度ノモノニシテ十斤位ノモノモ交リ中版鯉ナリ出漁當時午前ハ毎日無風ニシテ十時頃又ハ
正午頃ヨリ南東風トナリ夕刻迄強吹シ風力二乃至三ニテ夜間ハ無風トナル鯉ノ釣獲ハ此信風ノ起リタル後ナルモ無風
時ニ於テ漁獲スルコトモ多カリシ潮候ニヨリ魚群ハ或ハ北ニ或ハ南ニ集リ沿岸ニ押寄スルコトアリ常ニ高浪ノ上ヲ波
走ヲナシ或ハ飛躍シ尾鰭ニテ水シブキヲ舉ケツ、アリ餌付良好ナルトキハ五桶位ノ餌ニテ七百尾ヲ漁シ三桶ニテ三四
百尾ヲ得内地漁場ニ比シ釣獲ノ割合多シ鮪ノ混入ハ割合ニ少ク別個ノ群ヲ爲セルモノアリ概シテ餌付不良ナリ鯉群ニ
饑付スルコトハ常ニ多クソノダ鯉ハ時ニヨリ混獲セリ内地漁場ニテ鯉ハ日表ヨリ日蔭ニ當ル方釣獲多キヲ例トセルカ
南洋漁場ニ於テハ此關係殊ニ深甚ナリ
ケマヲ根據トシ出漁中ノ漁獲左ノ如シ

第一千代丸ノ分

月 日	出 港	歸 港	漁 場	尾 數	餌	量	餌 付
九月 九日	前 七 時	后 一 時	東南十浬	七〇〇	鱧	八 桶	甚 良 好
同 十 日	同 八 時	同 二 時	南 東	三〇〇	同	三 全	同
自同 十一日 至同 二十日			同	六〇〇	赤 鯉		
同 二十二日			東 部	六〇〇	同	十 全	普 通

第三千代丸ノ分

月 日	出 港	歸 港	漁 場	尾 數	餌 量	餌 付
同 二十四日	前 〇時	后十時半	セレス北都燈台	ナ	同	魚群多キモ餌付不良
同 二十六日	前 四時	后 四時	南東十五湊	三九八	同	不良
同 二十九日	前六時十分	前十一時半	南々東七湊	五四〇	同	不良
同 三十日	前六時半	后 四時	南東 六湊	三三〇	同	不良
十月 二日	同	同	レンハ島南三湊	一八二九	同	甚良好
同 三日	前六時	后 二時	南東十湊	一五〇	同	不良
同 四日	前五時半	后 二時	南 東	一五〇	同	不良
同 六日	前六時半	后 三時	レンベ水道口	三〇〇	同	不良
同 七日	前五時半	前八時五十分	同	ソウダ 一〇三六 三〇〇	同	良好
同 八日	前五時十七分	同	南 東	九六六	同	同
同 九日	前九時	同	東五湊	九四四	同	同
同 十日	同五時半	同	同	一〇三二	同	同
同 十一日	同三時	同	同	四〇	同	不良
同 十二日	前夜十時半	正 午	ベランジ島附近	三三三	同	同
同 十三日	同	同	同	七三〇	同	良好
同 十六日	前八時	后十一時半	ケマ沖	ナジ	同	不良
同 十七日	同	同	同	三三四	同平子鰹	甚良好
合 計				二七〇九		

九月二十六日	前七時	后七時	レンベ島沖	六〇〇	赤鯉	二十桶	良
同 二十七日	同 六時	同 六時	ケマ沖	三〇	同	十全	不
同 二十八日	同	同 三時	同	一〇〇	同	二全	良
十月 一日	正 午	同 六時	同	一〇〇	同	五全	不
同 二日	前 三時	同	東七湊	八〇〇	同	二十五全	良
同 八日	同 六時	同 五時	同	一〇〇	同	四十五全	同
同 九日	同	同	同	三〇〇	同	四十五全	不
同 十日	同 五時半	同 五時	同	一〇〇	同	四十八全	良
同 十二日	同	同	ケマ沖	二〇			
同 十三日	同 五時	同 三時	ペランケ附近	七〇			
同 十四日	同	同	ケマ沖	二五〇			
同 十五日	同	同	同	五〇〇			
同 十七日	同	同	同	四〇〇			
同 三十日	同	同	同	六、六七			
計							

レンベ水道ノ餌漁

ケマヨリ北東約五湊セレベス島ノ北端マラツカ海ニ面スル方ニレムベト稱スル南西五六湊

ニ延長セル小島アリセレベス本島ト約一湊ノ間隔ヲ以テレンベ水道ヲ形成シ千噸級ノ汽船ハ通航容易ナリ千滿潮時ハ急流ヲナシ時トシテ此ノ水道内ニ鯉群ノ進入スルコトアリ本水道内ニハ赤鯉其他鯉屬平鯉等ノ棲息多ク赤鯉ノ如キハ實ニ無盡藏ナルカ如シ出漁ノ始メハ本海峡ニ土人ノ定置セルセーロート稱スル竹簧製ノ餌ニ漁獲セル赤鯉ヲ購入セルモ後土人ノ諒解ヲ得八田網ヲ使用セシニ漁獲多ク約二ヶ月間二隻ノ大型船ノ餌料ヲ供給スルニ何等不足ヲ感スルコトナク最モ少キ場合ニ於テモ二三十桶ヲ下ラズ多キハ二百桶以上ヲ漁獲シ暗夜月明ヲ問ハズ火付良好ナリ、ケマ沖合附

近ノ鯉群カ水道南口附近ニ寄セタル場合ニ於テ赤鯉群ハ鯉ニ追ハレテ水道内ニ逃ケ込ムタメ一層濃厚トナル十月九日
月明時沿岸淺所ニ集合セル大群ヲ發見シ小地曳網ニテ圍籠セシニ二百桶以上ノ漁獲アリ其ノ多キニ驚ケリ尤モ海底ニ
ハ珊瑚礁ノ突出セル所アルモ砂濱多ク入田網使用ニ適スル場所七八ヶ所アリ網子場ハ一漚ヲ距ツルビツン附近ニ砂濱
アリ淡水ノ供給ニ便ニシテ水深モ百噸級ノ漁船表着纏着自由ナルユヘ餌漁業ノ根據地トシテ最モ適セリ

鯉ノ販賣 馬來人ハ邦人ト同シク魚肉ヲ賞美シ鯉ハ頭付ノマ、三枚ニ卸ロシ椰子葉ト新ニテ焙灸シ唐辛子ヲ塗リ食
ス當時ケマニテ一尾七十錢乃至一圓二十錢位ニテ毎日千尾位ノ取引行ハレ鮮魚トシテメナド市ニ輸送シ又ハ前記製品
トシ山間部市邑ニ賣ラル土人支那人等ノ仲買五六人アリ本船出漁中ハ鮮賣シ餘レルモノヲ節ニ製セリ

以上ノ如クケマ附近ハ沿岸ニ鯉群多ク近キレンベ水道ノ餌料モ豊富ニシテ好個ノ漁業地タルヘキナリ出港ヨリ漁業シ
漁獲物ヲ賣却シ根據地歸着迄僅カニ三時間半ニシテ漁獲壹千余尾ニ上リタルコトアル等如斯ハ内地漁場ニ於テハ何レ
ニモ求ムヘカラス有望ナルコト推シテ知ルヘシ

本船ハケマ海岸ノ民家ヲ借入小屋掛ヲナシ製造ニ従事セシカ此地ノ土人ハ馬來人種中ゴロンタロ人ト呼ハレ他地方土
人ノ温順ナルニ反シ不良ノ徒多ク屢々漁獲セル鯉ヲ盜ミ十月十七日ノ如キ之ヲ叱責セシニ夜間製造場ノ飲用水ニ毒ヲ
投シ製造人中重傷者ヲ出セシコトアリ又淡水ヲ山間部ノ井戸ヨリ汲取ル際夜中投石スル等ノコトアリ此地ノ北東ギリ
ヤンヲ越ヘヒツンハレンベ水道ニ面シ人口六百位性温順漁業ニ従事スルモノアリテ船着便ナリメナトヘノ自動車聯絡
アルカユヘ寧ロ此地ニ製造場ヲ置クヲ可トス

ケマ附近土人ノ鯉釣 メナード港ヨリケマ港ニ至ル沿岸ニハ土人ノ鯉船多ク二三十隻ニモ及ブベシ、十月頃ヨ
リ翌年二月頃迄ヲ好漁期トシ其間根據地ヲ轉スルモノノ如ク當時レンベヲ根據トスルニ隻ヲ見タリ

普通ノ漁船ハ丸木船ナルモ鯉漁ニ用フルモノハ西洋形船ノ如ク巧ミニ板ヲ組ミ合セ丸木船型ノ大ナルモノトシ船底ハ

扁平トシ中央部ニ穴ヲ穿テ船ノ半分位ヲ活間トシ絶ヘス水ヲ汲ミ出シ換水シツツアリ一隻十名位乗組ミ手權ニ依リテ風アル場合ニ帆走ス

餌料ハバラオノ項ニ於テ説明セル鯉(本邦方言バカザコ)及赤鯿ノ大群沿岸ニ湧上シタルモノヲ棒受網ノ如キ小網ニテ抄獲シ或ハセーローニテ漁獲セルモノヲ使用ス漁業ノ方法ハ本邦ニ於ケルト同様魚群ニ向ヒテ船ヲ進航セシメ小竹ヲ編ミテ作レル攔ニテ抄獲セル餌魚ヲ撒餌シ主トシテ船尾ニ於テ釣獲ス竿ハ我金竹ニ似タルモノニテ長サ二尋位緋糸ハ麻糸ナキタメ針金ヲ使用セリ釣鉤ヲ自己ニテ製作スルコト能ハサルタメ歐州ヨリ輸入セルモノヲ使用ス擬餌鉤モ不完全ナカラ使用セリ釣方ノ操作ハ本邦ニ於ケルモノト稍其趣ヲ異ニシ竿ヲ左ノ股腰ニ持タセ左手ニテ竿ヲ抱ヘ右手ハカヒベラニテ水ヲ撒キ魚權リタル時ハ左手ニテ撥ネ右手ニテ前胸部ニ抱キ釣鉤ヲ外ス船ノ操縦ハ餌付旺盛ナル場合ハ船ヲ流シテ漁獲スルモ然ラサル場合ハ漕釣ヲナス此時ハ十名位ノ内八名位ハ權ヲ操リテ全速力ニテ航走シツツ船尾部ニ於テ二人位竿ヲ出シ少量ノ餌撒ヲナシツツ釣ルナリ

土人ノセーロー漁業

セーロート稱スル竹簧ノ魼ハ沿岸各地ハ淺所ニ定置セラレ之ニ陷入スル魚類ヲ捕獲シツツアリ餌料トナルベキ小魚類モ之レニ依リ補給セラルルモノノ如ク其魚捕部ハ常ニ斷岸ノ突端ニ置キ沿岸ニ向ヒテ水深五六尺以内ノ淺所ナルトコロヲ竹簧ニテ圍ヒ簧ノ編方ハ粗ヨリ密ニシ魚捕部ニ於テ二重ニセルモノアリ之ニ入ル魚類ハ赤鯿鯉其他魚群ハ平鯿等ニ追ワレテ此ノ内部ニ入り外部ニハ鯿類常ニ回游シ居ルヲ以テ出ル能ハサルナリ内部ニ入りタル平鯿類ハ小魚ヲ誘致スルモノナリトノ信仰ニ依ルカ平鯿類ヲ漁獲スルコトヲ嫌忌シ魚捕部ニ集合セル小魚ヲ攔網ニテ抄捕シ餌料ニ用ヒ又ハ食用ニ賣却ス本船ハ屢々一桶ヲ一ギルダ(邦貨約九十錢)位ニテ購入使用セリ多キ時一ケ所ニテ二十桶位ヲ得タルコトアリ多クハ赤鯿ノ仔魚ニシテ鯿モ混ゼリ本漁具ヲ網ニ改造センカヨリ以上ノ漁獲ヲナスヲ得ルニ非ルカ夜間ランブヲ點シテ魚群ヲ誘致スルコトアリ

アンボン島

セレベス島ケマ附近ノ鯉漁業ハ漁獲ノ見込立チ引續經營ヲ利トスルモ出發以來既ニ長日ヲ經過セルヲ以テ一旦切揚ケ
第一千代丸ニテ鯉群多シト聞フルマラツカ群島中ノアンボン島及其ノ南部ノバンダ海タルナテ附近ヲ視察ノ上歸國ス
ルコトトナリ同船ニ便乗セリ

十月十七日午後二時ケマ發針路ヲ南々東ニ取り十八日前十時赤道ヲ通過シ十九日前四時スル島北側ニ出テ東南東ニ轉針
五時半ヨリ六時半迄鮪鯉ノ大群ニ會セルモ釣獲スル能ハス正午更ニ鮪ノ大群ニ會シ抹香鯨ノ游泳ヲ認ム二十日ボウロ
島ノ北ニ出前七時東端通過南東微東ニ轉針后三時頃ヨリ鯉鮪群多ク鮪一通釣獲アンボン島ヨリ南西十哩位ノ地點ニテ
好漁場ナル如ク土人漁船ノホロ曳セルモ二隻ヲ認ム后五時アンボン灣ニ入り七時アンボン港ニ着ス

アンボン島ハ東經百二十八度七分南緯三度四十一分ニ位置シケマヨリ南東三百六十哩ノ處ニ在リ南西ニ約三十哩延長
セル島ニシテ其南ニアンボン灣アリ灣人約二十哩其奥ニアンボン港アリ一名アンボイナトモ稱ス人口約二萬邦人ノ在
留三十人沖繩縣漁夫ノ根據スルモノヲ見サリシモ時々來漁スル由ナリ、マラツカ群島ヲ管轄スル政廳アリ汽船ノ便ア
リ水道モ敷設モラレ樞要ノ都市ナリ

十月二十一日アンボン港裏手ニ當ルヒツニ行キ餌ヲ購入セントスルモ得ヌアンボンニ引キ返シ二十三日アンボン錨地
ヨリ三哩ノ地點ニテ土人漁夫ノ漁獲セル五六寸大ノ鯖仔鱈鯉ヲ購入シ出漁セシニ港外燈台附近ニテ鮪鯉ノ大群ニ會シ
四回流シニテ二三十斤大ノ鮪百二尾鯉四百二十八尾ヲ漁獲ス魚群濃厚廣汎ニシテ餌ノ大型ナルタメ鮪ノ餌付良ク辛ハ
折レ糸ハ切レ或ハ釣鉤延ビ漁獲能率上ラズ鯉ハ餌付良好目ノ届ク限り魚群ナラサルハナク斯卡ル廣汎ナル鯉群ヲ乘組
員一同モ從來見タルコトナキタメ驚異セリ十一時歸港シ翌日正午迄市場ニテ賣却ニカカリタルモ賣リ切レス市場監吏

ノ注意ヲ受ケ終ニ一尾拾錢トセルニ忽チ賣却セリ此地ノ鯉ハ魚体ノ大ニシテ多ク十五斤程度ノモノアリ普通十斤乃至十二三斤大ナリ餌料ハアンボン灣ニ鯖鯉鱈鯉或ハ垂口鯉等多ク殊ニ本灣ハ大灣ニテ水深キユヘ豊富ニシテ此地ニ漁業スルコトハ適當ナリ殊ニ本島ノ土人ハ漁業ニ巧ミシテ夜間石油ヲ焚キ鯉類ヲ集メ網ニテ漁獲シ網ニ活養シテ市場ニ出シ居ルカユヘ之ヲ購入使用スルノ便アリ

鯉群回游ノ範圍ハ唯一回ノ出漁ナリシカ故ニ詳細調査スルコト能ハワサルモ灣口附近ヨリバンダ諸島ニ及ビテ濃厚ナルモノアルハ推スルニ難カラス

タルナテ近海

マラツカ群島ハジロロ島ヲ最大島トシアンボン、タルナテバチアン、マルケ其他ノ諸島ヲ包括シジロロハ一名ハルマヘラト稱ス群島總面積四萬三千方哩アリ今回視察セルハ其タルナテ島ノタルナテ港附近ニシテ十月二十五日后〇時半アンボン港發后四時島ノ西端通過二十六日續航針路北后二時オンピマジョフ通過廿七日前五時バチヤントハルマヘラノ間ニ在ル小島通過ロラン、カヨア、マクヤン、モテイル、タイダール諸島ノ東ニ沿フテ走リ后五時半タルナテ港ニ入ルタルナテ港ハタルナテ島ノ南東岸ニ在ル良港ニシテ東經百二十七度二十分北緯〇度五十分ニ位置シアンボン島ヨリ北二百八十哩ケマヨリ東徼南百二十哩ノ處ニ在リ支廳所在地ニシテ兩地ヘ連絡スル汽船便アリ人口一万邦人ノ在留者七八戸沖繩縣漁夫ノ出稼セルモノ二十人位アリ土人ノ鯉釣漁船ノ根據スルモノ百隻以上ニ及ヒ附近ニテ鯉漁業ノ最モ盛ナル地ナリ

鯉群ハ本島ノ東西海ニ亘リ沿岸近ク回游シ周年漁業シ土人漁船ノ漁獲一日一千尾以上多キハ二千尾ニモ及ヒ價格下落スルコトアリ餌ハ當時鯉(バカザ)ヲ用ヒ居リ其他赤鯉ノ仔ヲ用フルト云フ出漁ノ途附近島嶼ニテ採收ス附近餌場

トシテハタルナテ港ノ對岸灣人部等濃厚ナル鯷群ノ產地トシ知ラレ居レリ大正十三年中大阪氷室組ハ冷凍船ヲ準備シ鯷漁業ヲ爲シタルコトアリ其際使用セシ發動船二隻アリ當時ノ關係者在留スルモノアリ其談ニヨレハカウベトバチャン灣等餌料モ多ク鯷群モ多シト云フ

菲律賓諸島近海

菲律賓諸島ニ往航シ東岸ヲ復航ニ西岸ヲ通過セシノミニテ今回ノ目的トセル漁業地ニ在ラス通過ノ際實見セルトコロニ由レハ南北殆ント千哩ニ及フ大島ニシテ地方ニヨリ海況異レルカユヘ地方別ニ實見セルマ、ヲ記スヘシ

バタン海峽ヨリ呂宋東海

バタン海峽ハ沖繩大島近海ノ如ク島嶼點在シ黒潮幹線ノ通過スルトコロニシテ鯷多カルヘシト豫想シ六月往航ニ際シバタン島ヲ見ツ、バブヤン、シブヤン、バリントン島ノ東二十哩ヲ航走南下セシモ鳥群ヲ見ヌ十一月歸航其西方ヲ通過セシモ同様ナリケーブエンガノヲ通過シ呂宋東海面モ同様ニシテ僅ニ飛魚群ヲ見タルノミ或ハ餘リニ深海ナルト沖合ヲ航走セルニ由ルナランカ

サムア附近

六月往航ノ際呂宋東海ハカタンゾアンヌ島迄ハ鯷群ヲ見サリシモサムア島シラ岬ヲ通過シテヨリ鯷群現ハレ南下スルニ從ヒ濃群トナリ殘餌及ホロニテ十五尾ヲ漁獲セルニ過キササルモ風海ニ細餌ヲ追フテ飛躍スル鯷ハ數十哩ノ廣サニ及ヒ内地漁場ニテハ嘗テ見サル大群ナルタメ一同驚ケリ呂宋東岸ノ屈曲ナク單調ナルニ反シ本近海ハ離島灣入アリ鯷鯖仔鰵等多數栖息スルタメ鯷モ多クヒラバン諸島ニ至ルマテ同様ニテ鯷漁業地トシテ適當ナルヘキヲ思ハシメタリ唯此

方面ハ北東信風季ニハ天候險惡地トシテ知ラル、ユヘ南西信風季ヲ選フノ要アルヘシ

ミンダナオ島ノ南部

十一月歸航ノ際視察セルトコロニテサンボアンガ附近ニ及ヒ洋中島付群多ク毎日ホロニテ漁獲セリ其東ダバヲ灣モ鯉群多ク餌トスヘキ小魚多キユヘ好個ノ鯉漁業地ナリ

サンボアンガヨリバナイ至ル西部海面

此海面ニ於テモ歸航ノ際饒多ナル鯉群ニ遭遇セリ殊ニ流木多ク何レモ魚付ナリバナイ島ナガス島附近ニテハ魚群ヲ見サリシモ鳥群ハ西ニ向ツテ集合シツ、アリシヨリ見レハ鯉鮪類ノ回游多キカ如シ

ミンドロ島西岸

十一月八日ミンドロ島西岸ノ北部距岸三浬ニテ濃厚ナル魚群ニ會シホロ角ニテ三十余尾ヲ漁獲セリ鮪ソータ鯉ニシテ細餌ヲ追ヒツ、アリシモノナリ此近海ニモ鯉ノ回游多キモノト察セラル

マニラ灣

十一月九日マニラ灣ニテ小鯉群ノ飛躍スルヲ認メタルモ釣獲スル能ハス魚群相等多キモノ、如ク本灣ニハ鯉多ク在留邦人漁者ニヨリ漁獲サレツ、アルユヘ利便ナリ殊ニマニラハ大市街地ニテ鮮魚ノ需用多ク製氷所モ備ハレルユヘ鯉漁業ノ好根據地ナリ

マニラ灣ヨリハタン海峡ニ至ル呂宋西岸ニハ鯉群ヲ認メサリシ

擬餌釣ニ就テ

鯉群ノ餌付旺盛ナル場合擬餌ノ使用ヲ利トスルハ云フ迄モナキコトナルカ今回ノ南洋漁場ニ於テ其ノ使用ノ期會殊ニ

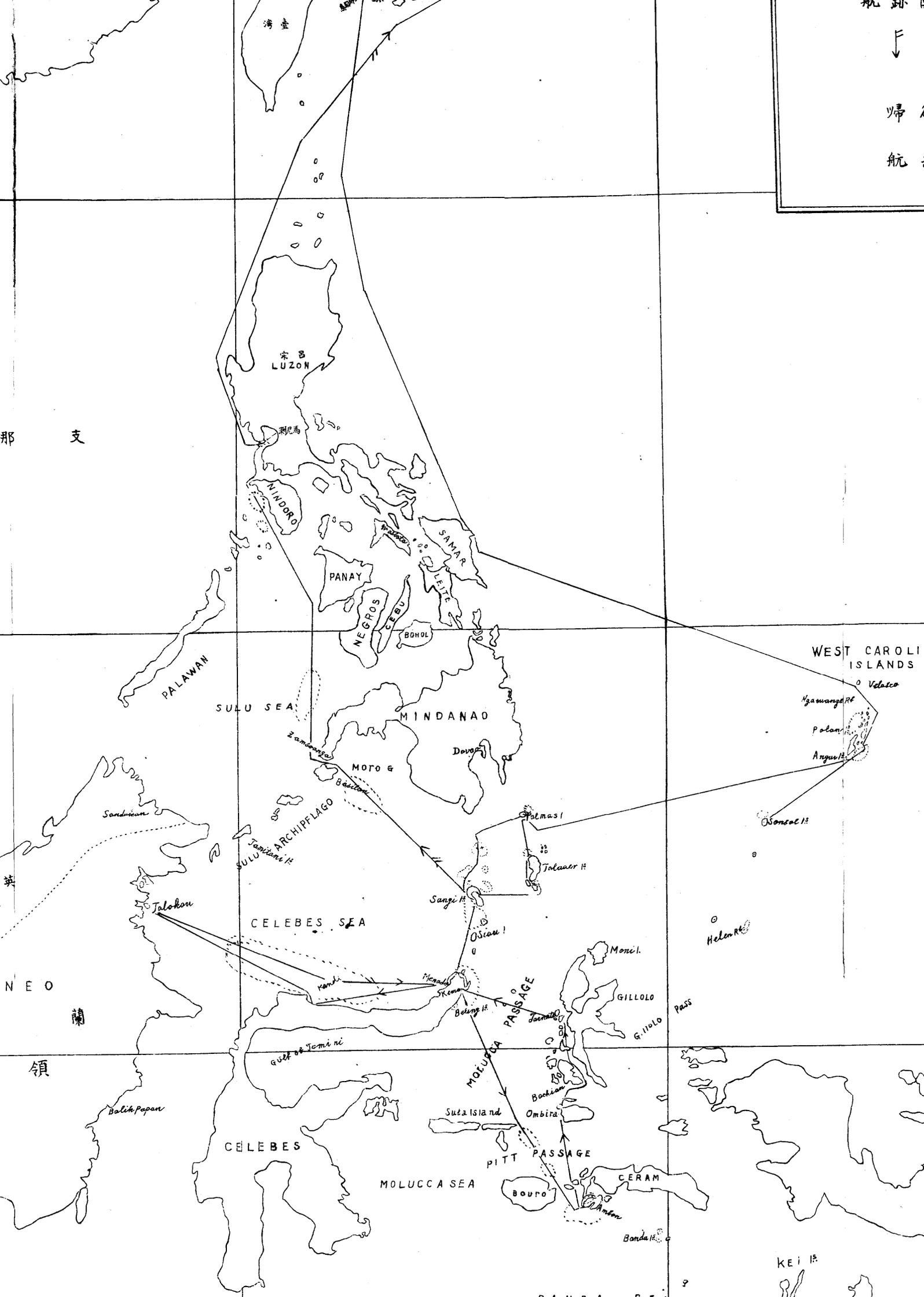
多ク數種ニ付實驗セル故以下記スヘシ

今回使用セルハ日向型、原耕氏ノ考案ニヨルモノ及静岡製ノモノナリ日向角ハ扁平ニシテ腹部ハ良質ノ錫ニ鮪ノ貝殻ヲ抱カセ背面ニハ海松ヲ箵メ型ニ入レテ釣鉤ヲ裝シ鑄込ミ釣鉤ノ根部ニハ豚ノ毛ヲ卷キ其上ニ丈夫ナル鱈皮又ハ鱸魚ノ喉皮三味線ノ皮鱸ノ皮等ヲ抱カセテ卷キ込ミテ製セリ、又海松ノ代リニ鹿角 牛角ヲ使用スルコトアリ或ハ豚毛ノ代リニ鶏羽ヲ用ヒタルモノアリ之ヲ抱角及振角トシテ使用スルナリ海松ハ純黑色ニシテ光澤アルモノヲ良シトシ鹿角ハ水中ニ於テ白色ヨリ水分ヲ吸ヒテ變色シ來リ透明トナル程良シトセリ其ノ良好ナルモノハ十本ノ角ヲ曳キテ航海スルモ他ノ角ニ來リタル魚ノ此ノ良好ナルモノニ首頭ヲ轉シテ來ルモノニシテ船上ヨリ良ク之ヲ望見シ得ヘシバラオ島マラカル水道ニ於テ得タル海松ハ角ニ製シ鱧ノ喰付キ良カリキ

原耕氏ノ考案ニ依リテ製作セルモノハ日向型ノ扁平ナルニ返シ圓錐形ニシテ鹿角ノ先端ヲ採リテ圓錐形トシ中央部ヲ空筒トシ此ノ間ニ釣鉤ヲ裝シ錫ヲ鑄込ムモノナリ鹿角ノ乾燥時ハ白色ナルモ水分ヲ吸收スルニ及ヒテ變色シ滄白色トナリ漸次半透明トナルヲ最モ良好ナリトセリ此角ハ振角抱角何レニ用ヒテモ良好ニシテ本種良品ニ至リテハ半速航行中停船中ニ拘ラス實ニ他ノ及フモノナシ殊ニ釣鉤ノ大キサ角度ノ大ナルタメ釣獲ノ際釣外レ容易ニシテ漁獲操作早シ兩種共ニ柔魚ニ擬セルモノニシテ原式ニ至リテハ小柔魚ト何等異ル所ナシ

静岡角ハ又前二種ト其趣ヲ異ニシ鱸ニ擬セルモノノ如ク單ニ錫ト釣鉤トヨリナリ或ハ僅カニ腹部ニ鮪殻片ヲ抱カセ釣鉤ノ基部ヲ白色羽毛ト赤キ毛糸ニテ抱カセ更ニ之ヲ保護スルタメニ丈夫ナル魚皮ニテ圍ヘリ此角ハ抱角ニシテ鱧群殊ニ小鱧ニ對シテ良好ナル成績ヲ示シ振角トナラス鱧群ハ鮪混リノスル場合ニ於テ殊ニ鮪ノ喰付良シ鹿兒島縣近海ノ大鱧ニ對シテハ吞ミ込ム事アリテ小ニ過クル傾アルモ南洋産鱧群ニハ非常ニ良好ナリ此種角ノ特長ハ羽毛ト赤キ毛糸及魚皮ヲ混用シ羽毛ノ水ヲ含ミ魚皮ヲ通シテ見ユル赤色ノ反影ヲ水中ヨリ望ム時ニ小魚ラシク見ユルトコロナリトス

航路
↓
歸
航



支

英

NEO

領

南洋航海漁業日誌

- 六月二日 午后四時五十分鹿兒島港出帆午后七時櫻島小池ニテ餌活養全所ヨリ出帆知林島ニ針路ヲ取ル
- 六月三日 天候雨風向南西風力二前五時湯瀬ヲ後ニナシ十一時五分臥蛇島西針路南々西后三時五十分臥蛇島通過魚群ヲシ一號船前方ニ於テ漁業シツ、アルヲ認メタリ他ニ漁船二隻アリ
- 六月四日 曇南々東三前六時橫當島西十哩附近ナリ針路南西前六時半鳥付魚群アルモ餌付不良七時四十五分更ニ鳥群ヲ認メタルモ試漁セズ南下ス后零時四十五分鳥付魚群アルモ餌付不良ナリキ
- 六月五日 北西之風強ク波浪高シ十時二十分大鱈(長五尺五寸)一尾漁獲正午機關故障漂流一時間許リニテ前進后十分久米島ヲ南東微東二十哩ニ認メ通過小魚群アルモ餌付不良鱈ニ尾ヲ得タ漁獲正午機關故障漂流一時間許リニテ前後六時四十分久米島ヲ南東微東二十哩ニ認メ通過小魚群アルモ餌付不良鱈ニ尾ヲ得タリ針路南々西續航
- 六月六日 曇雨南東四前六時針路東南東七時十三分鳥群アルモソ一ダ鱈ナリ七時二十分針路西九時二十分針路南十一時五十五分針路北東變更正午北全后二時針路北東微東九時ヨリ漂流
- 二月七日 曇雨北東三前三時漂流地點ニ於テ他船ノ綠燈ヲ認メタルモ後不明トナリ六時半ヨリ始動針路東北東九時二十五分鳥群アリ餌付不良前九時五十分久米島見ユ鱈群アリ十一時魚群浮上ナキ故ニ久米島ニ向フ后四時四十五分久米島着儀間港外投錨
- 六月八日 曇雨北東二前二時十五分久米島發針路西南西前七時十分鱈群飛躍ヲ認ム前十時針路南十一時針路北西十一時五十分針路南西后一時卅五分針路南后二時四十分南西三時十五分北々東索漁セルモ魚群ナク午后六時機關停止漂流
- 六月九日 曇北東二前五時五十分始動針路西微南赤尾磯ニ向フ午后二時半旗魚二尾回游スルヲ認ム赤尾磯北微西ニ在リ全島ニ向フ后四時二十分全島附近小鰹多シ臺灣鯉船壹隻操業中鱈混リニシテ二十尾許リ漁獲后瀬魚釣ヲナシ漁獲多シ
- 六月十日 曇北東三赤尾磯泊キジン鯛ヒサ魚クレ魚等二百尾以上漁セリ底魚漁業見込甚々多シ
- 六月十一日 曇北東三前四時四十分機關始動針路北八時針路東南東十時〇五分鱈群ニ會ス餌付不良十一時半鳥群アルモ鱈群ナリ后五時半大鱈群ニ會シ漁獲百二十尾漁場ハ赤尾磯久米島中間ナリ六時半機關停止漂流
- 六月十二日 雨曇東北東二前五時始動針路東七時二十五分南東微東十一時二十分針路南々東后五時半鳥島西五哩鱈群

アルモ餌付不良ホロニテ二尾漁獲ス鳥島着夜ニ入り瀬魚釣ヲナス

六月十三日 前五時鳥島發后三時沖繩縣那霸港ニ入ル

六月十四日 晴后四時全所出帆石垣島ニ向フ

六月十五日 晴○時十分針路南西微西二分一西宮古曾根附近五寸位ノ小鯉ノ飛躍スルモノヲ認ム七時二十分宮古島下地島北岸投錨

六月十六日 晴南西二前四時始動水納島附近索漁セシモ魚群ナシ七時五十分石垣島ニ向フ八時魚群アルモ小鯉ナリ八

時五分更ニ魚群ヲ認ムルモ餌付不良十時十五分小鯉ニ會シ約七十尾漁獲ス水温二十七度六分后五時半石垣島錨地着

六月十七日 午前中鯉陸揚淡水補給○時二十五分石垣發西表島船浮港ニ向ヒ四時着淡水補給

六月十八日 晴南々西三前三十分西表島錨地發針路南西西南西六時與那國島見ユ北西微西二十哩魚群ヲ認メサルカ故

へ前九時愈々バタン島ニ針路ヲ取ル針路南微西二分之一西十一時五十分ヨリ○時二十五分迄機關故障漂流南々西之風強ク波浪高シ后六時風颯ギタルモ浪高クマストヲ倒シテ航行ヲ續ク

六月十九日 曇南西三前十一時臺灣火燒島紅頭嶼ノ何レナルカ不明ナルモ鳥影ヲ見ル全針路續航后八時針路南々西南西軟風トナル

六月二十日 晴南東二前五時バタン島見ユ六時ヨリ針路南正午バリントン島通過后五時バツヤン通過カミグイン島アビームセズシテ夜ニ入ル潮流北西ニ急ニシテ船足延ヒヌ

六月二十一日 晴南々東二前五時ケーブエンガノヲ通過シテ南下シ前六時二十分機關故障漂流八時四十五分一號船ヨ

リ曳船サル九時四十分自力航走針路南微東續航后八時ヨリ針路南々東

六月二十二日 晴南二針路南々東續航前十時テラサツク灣沖通過續航魚群ナシ

六月二十三日 晴南二前六時天測位置東經百二十三度二十三分北緯十五度六分カタンズアンズ島北々西七十哩前十一時カタンズアンズ島北二十五哩ノ地點午后七時針路南々東サムラ島ニ向フ魚群ナシ

六月二十四日 曇南々西一前六時バタグ島燈台ヲ見ル十時サムア島シラ岬アビーム鳥付鯉群多シ投餌セルモ餌付不良魚群刻々ニ多シホロニテ十尾漁獲ス后二時ヒラバン島ニ投錨午后八時全所出帆バラオ島ニ向フ針路東南東

六月二十五日 曇西一針路東南東后七時汽船ニ會ス

六月二十六日 曇西北西三續航針路南東微東二分一東零時半スコール來ル二時止ム

六月二十七日 續航針路南東正午ノ位置東經百三十度九分北緯九度十一分午后二十尺位ノ流水ニ會セルモ魚付ナシ
六月二十八日 晴無風針路南東續航正午ノ位置東經百三十三度十六分北緯八度十四分バラオ島アイオカコ水道南六
點東ニ計ル八十三哩サムア島ボロンガール島燈臺北六點西ニ計ル五百哩實測位置十六分北ニ在リ午后三時四十五分ガ
ルアングルリーフ見ユ后四時微速六時二十分全島投錨浮採集ヲナス

六月二十九日 晴南一前五時半錨地發十一時バラオ北方后二時マラカル水道ヨリ入港五時半檢疫済

六月三十日 晴バラオ港上陸南洋廳ヲ訪問シ漁業ニ關スル打合ヲナス

七月一日 曇北東一バラオ港碇泊餌取網調製シ据船ヲナシ船底ヲ掃除ス

七月二日 曇北東一漁業ニ關スル願書ヲ提出ス夜間小敷網ヲ用ヒテ二回焚入試驗ヲナセルモ火付多キモ漁獲二三升ニ
過ギズ

七月三日 雨南東二午前中地曳ヲ用ヒテ沿岸ニ居ル鯷群ヲ漁獲セントセルモ得ルトコロ少ク漁獲困難ナリ

七月四日 曇後晴本日ヨリ第一千代丸ニ轉乘ス正午マラカル港發西水道口附近餌鯷漁ニ向フ午后三時アルモノグヒ着
海岸ノ淺所ニ鯷群多ク地曳網ニテ圍籠セルモ漁獲スルコト能ワズガツン鱈二百尾位漁獲ス夜間火焚セルモ鯷群火付カ
ス鰕或ハ蟹ノ仔ノ如キモノ多ク火付シ採收セリ全所泊

七月五日 前六時半アルモノグヒ發九時五十分アルグル一名アルコルン島着十時上陸沿岸ヲ調査セルニ樹陰水深四尺
位ノ所ニ平子鯷群アルタルヲ地曳網ニテ圍籠セルモ逃逸シ漁獲スルコト能ワズ后五時別ノ箇所ニ於テハダラ鯷約十桶
位ヲ漁獲シ船中ニ活養ス全所泊

七月六日 晴東三前八時マルグル島發西水道ニ向フ十時半西水道口附近小鯉大群アルモ餌付カズホロニテ小鯉一尾漁
獲十一時アルモノグヒ着餌場ヲ視察スルモ滿潮時ニシテ不判明ナリ午后三時全所發七時マラカル港入港

七月七日 終日雨沖繩漁夫ト餌取方ヲ交渉シ南洋廳所屬白鵬丸ヲ借入レ目下漁期ナリト云フ赤鯉ノ仔ヲ採集ノ積リナ
リシモ荒天トナリタル故ニ餌場ニ向ハズ

七月十日 曇雨南西二一四ノ風荒天トナリ前六時マラカル發白鵬丸一號船同伴入時アルモノグヒ着沖繩縣人漁夫ト手
ヲ別テ彼等ハ彼等特有ノ技ニ依リ船員ハ樹陰ニアル鯷群ヲ取ルマンダローブ樹陰ニ多クノ垂口鯷群アルヲ發見シテ午

后漁獲ニ向フ約十五桶位漁獲シ船側ニ網生簀ヲ張リテ活養セルモ後荒天トナリ錨ノ引ケ船尾暗礁ニ近ク危険ナリシ故ニ機關始動前進ヲナシタル網破レテ全部逸走セリ全所泊

七月十一日 雨南西ノ風三日ダレ鰻二尾ヲ採集スルヲ得甚ダ珍ナリキ風向不變強吹シ信風状態ナリ

七月十二日 曇雨南西四前七時十五分アルモノグヒ發ガヌバン灣ニ餌多シトギ、全所ニ向フ前八時ガヌバン波止場着小鯖鯷群多キモ漁獲困難約一桶位ノ漁ニ過ギズ零時十五分マラカル港入港南洋廳測候所ヨリ暴風警報ヲ發セリ白鵬丸借入方交渉四時全所發五時半ガヌバン投錨泊當地ニ於ケル鰻ハ平子鰻ナリシモ翌朝ニ至リ斃死セリ

七月十三日 曇南西二前六時四十分ガヌバン波止場發七時二十分アルモノグヒ看白鵬丸ニ依リテ沖繩縣漁夫ノ漁獲セル(赤鰻ノ仔)餌ヲ本船位置ニ集ム午后二時迄掛リ船員ハアルモノグヒ河口附近ニ於テ垂口鰻一籠ヲ漁獲セリ全所泊

七月十四日 曇南西一前五時ヨリ餌活赤ザコ一籠赤鰻四籠垂口鰻一籠前七時〇五分全所發西水道附近ニ出テ南西ニリ一フニ沿ヒテ走り索漁セルモ鯉群浮上ナク后五時半ベリリウ島西沖ニ於テメキチ三十尾計リヲ漁獲ス后六時半ベリリウ島アングール島中間會根ニ於テ流シ船シ瀬魚釣ヲナシタルニ漁獲多ク四五十尾漁獲シ錨泊セントスルモ南西ヨリノ高浪ニテ錨泊困難アングール島ニ向ヒ七時十分全島影ニ投錨假泊ス

七月十五日 曇前六時アングール島錨地發前十一時四十分迄前日ノ會根ニ於テ瀬魚釣ヲナシ好漁アリ夫ヨリガルアングルリーフ方面ニ索漁后三時四十分マラカル東微南六湮ヨオ水道沖鯉群アルモ餌付不良ニテ五時アイライ東七湮ノ漁場鯉群アルモ餌付不良ホロニテ一尾ヲ漁獲シ六時アイライ沖リーフニ投錨ス后十時半全所拔錨ガルアングル方面ニ向フ針路北東十二時ヨリ北ニ變更ス

七月十六日 曇南西三前五時ガルアングルリーフヲ右舷ニ見テ通過六時四十五分ガジャングル水道魚群アリ餌付キタルモ旺盛ナラズ漁スルニ至ラズ十時半ガジャングル東海面鳥群アリタルモ魚群濃厚ナラズ見込ナキヲ以テアルホルン西海面ヨリ西水道ニ向ワントセリ後四時半ガメゲイ水道ニ於テ鳥群散漫餌付不良ナリシモ暫時餌付シ鯉混リ鮪群ニシテ(鯉五六斤鮪七八斤程度)鯉四十五尾鮪十五尾計六十尾計リヲ漁獲セリ鮪卵成熟シ居リ標品トシテ採收セリガメゲイ水道泊

七月十七日 雨西南西三前六時半錨地發アルホルン島西部海面ヨリ西水道口附近ニ及ビテ索漁後一時半ヨリ后二時半迄西水道口附近ニ於テ三回流シニテ漁獲鯉六〇尾鮪七十五尾漁獲魚群甚ダ沿岸ニ近ク回流シ居テ船流シニ危険ナル程

ナリキ後二時四十五分コロールニ向ヒ五時二十分マラカル西水道西口ヨリ入港節製造

七月十八日 雨南西二一三マラカル港碇泊餌料ナク休泊

七月十九日 雨南西二右全

七月二十日 曇後晴西南西二右全

七月二十一日 曇西南西二 前七時マラカル港發九時アルモノグヒ着アルモノグヒニ於テ鯧ノ大群ヲ沿岸樹蔭ニ發見セルモ漁獲ナシ本日マラカル港外ゴロル島近海ニ於テホロニテ漁獲セル平鰯ノ腹中ヨリウルメ鯧ヲ發見シ本島ニウルメ鯧ノ産スルコト明ラカトナレリ河口ニ於テ垂口鯧アリテ相當ニ漁獲セリ

七月二十二日 曇雨西南西二スコール來ル昨日漁獲セル垂口鯧本朝全部斃死ス棲息場ノ河口ナリシ故ニ鹽分比重ノ差異ト生簀籠ノ目ノ餘リニ密ナルヲ以テ風ノ海面ニ於テ殊ニ海水ノ流通惡カリシニ依ル本日も鯧ノ漁獲ニ全カヲ注ゲルモ漁獲ナクマラカル港ニ向ワントセルモ時刻遅クアルモノグヒ泊四時頃大ナルスコール來ル

七月二十三日 曇雨前六時半アルモノグヒ發九時マラカル港着残り餌ヲ活養シ九時五十分全所出帆東水道ヲ出テソソール島方面視察ニ向フ後二時沖合ニ鳥群ヲ見ル四時二十分アングール島假泊

七月二十四日 雨後曇前六時半錨地發九時三十一分漂流中ノ汽船明海丸ニテクロノメーターヲ合セ十時十八分アングール島南端ヨリ針路ヲ南西二分之一西ニ取リソソール島ニ向フ午後續航

七月二十五日 晴南西二一三 前日針路續行前六時三十分航路筋ニ於テ魚群ヲ認ム鳥群ノ行動ヨリ鮎群ナラント察ス九時二十分ソソール島見ユ十一時二十分ソソール島北島着夫ヨリ一週ス土人ホロ曳船數隻操業中後一時半迄魚群ヲ追ヘ共餌付不良ナルニ依リ南東岸投錨上陸シ漁業調査ヲナス全島泊潮流南西急ナリ

七月二十六日 曇北西二、前三時錨ノ引ケタル儘ニ漂流シ前五時半漂流地點ヨリ始動北西岸ニ向フ六時魚群アリホロニテ三尾漁獲六時二十分餌付キタルモ旺盛ナラズ九時迄索漁セルモ見込ナク九時五十分ソソール島發針路北々東十時アングール島ニ向ケル針路北東二分一東續航

七月二十七日 曇南西二、後雨前七時アングール島ヲ北ニ見ル九時アングール島南東五湮九時五十分アングール會根ニ於テ瀬魚釣一時五十分全所發マラカルニ向フ六時入港

自七月二十八日至七月三十一日 マラカル港碇泊内地汽船便ヨリ八田網入荷網ノ調製ニ着手ス

- 八月一日 曇南西二八田網ノ構成終リ南洋廳ヨリ轉馬船ヲ借入マラカル港西口ニ網代ヲ設ケ八田網試驗ヲナス
- 八月二日 曇雨南西二前一時半白タレ口鯧多數火付セル故ニ揚網小籠ニテ三籠位漁獲アリ未明迄更ニ二回揚網好漁ニシテ網生簀二本ニ活養セルモ多數斃死シ取り上ゲテ是ハ實却シ他ヲ少シ許リ一號船ニ活養シテ西水道口附近ニ鯧釣ニ向フ正午迄全所附近ヲ索漁シタルモ魚群ナク西水道ヨリ引返シアバラシヨカル島附近ニ於テ瀬魚釣ヲナシ夜間假泊
- 八月三日 曇南西二前六時錨地發八時マラカル入港夜間八田網使網漁獲アリ
- 八月四日 雨南西三マラカル泊八田網使用小漁アリ
- 八月五日 雨南西二八田網使用漁アリ本日大型鯧及ウルメ鯧ノ漁アリ
- 八月六日 スコール多シ八田網好漁ナリ
- 八月七日 晴北東一休漁
- 八月八日 曇北東二前六時三號船鰹釣ニ向ヘルモ本日歸港セズ東水道方面八田火焚セルモ火付カズ月明トナル
- 八月九日 曇南微西一前十時三號船沖合ヨリ歸ル(鯧群アリタルモ漁ナク瀬魚百五十斤許リ漁獲シ來ル)
- 八月十日 晴南二后五時マラカル發東水道附近ニ於テ瀬魚釣ヲナス第三千代丸ニ轉乘ス
- 八月十一日 雨南西三后五時四十五分バラオ港出帆バルマス島ニ向フ一號千代丸餌ヲ活養ス東水道ヨリ出漁アングアル島南ヨリバルマス島ヘ針路ヲ取ル
- 八月十二日 雨曇南西三續航針路西微南
- 八月十三日 曇南西三續航針路西南西
- 八月十四日 曇右全
- 八月十五日 全魚群ニ會セズ
- 八月十六日 曇南西三前六時半南東ニ當リテ島影ヲ認ムルモ一號船影ヲ認メザルガ故ニスローニテ航行中機關部故障ヲ生ジ修理ノ爲メ漂流中一號船影ヲ微ニ認メ信號セルモ氣付カズ西航シ後船影ヲ沒ス八時二十五分機關部修繕ナルト共ニ島影アルヲ知リツ、一號船ヲ追ヒテ針路西微南ニ走ル前九時針路南東ニ變更前十一時ダラウド諸島中ノモロムビ島ノ北西十哩ノ地點ヨリ針路北ニ取リバルマス島ニ向フ后三時十分バルマス島ヲ北西ニ認ム后五時一號船影ヲ認ムバルマス島ヘ走リツ、アリ潮流南西ニ急ニシテ潮流甚ダ高シ后六時バルマス島着投錨

八月十七日 曇南西三一四 三號船バルマス島泊一號全島附近索魚漁群ヲ認メズ南西ノ強風ニ加フルニ南西ニ急潮ナリシ故ニ潮波甚ダ高シ上陸シ調査スルニ本島ノ北西三湮ノ地點ニ淺礁アリテ鯉鮮多シト云ヒ水先人來ル事トナリテ本船ニ歸ル

八月十八日 荒天一號船漁業ニ向ワントセルモ荒天ニ付キ休漁波浪高ク錨ノワイヤー二本切斷セリ

八月十九日 曇南西二 風風ギタル故ニ一號水先人便乘鯉釣ニ向ヒ十時頃鰯四十尾鯉十尾許リ漁獲シ來ル餌料少カリシ故ニ漁少シ后十時バルマス島拔錨タラオ島ニ向フ

八月二十日 前零時十分タラオ島ニ航行中機關部故障ヲ生ジ漂流修理ヲナシ更ニエイヤーノ缺乏セルタメ、ガンソリンエンジンヲ使用セントセルモ是又故障修理前七時二十分修理ナリ航走午后四時タラオ島北端投錨鰯八百匁位一尾漁獲ス本夜ヨリ一號船ト行動ヲ別ニスルコト、ナリ一號船ハ西航シサンギール島北部ノ離礁ヲ視察シテサンギール島タルナニテ落合フ事トナル

八月二十一日 晴南西微風 前六時錨地發西岸ニ出テテ南下シエツセン灣ニテ淡水ヲ補給シ十一時全所出帆西岸ニ沿ヒタラオ島トサリバブ島間ヲ南東ニ走リサハ島沖ニテ鯉ノ大群飛魚ヲ追ヒテ回游シ居ルヲ認ムカブラウアン島附近ニ沿ヒテフーサンバーランド島ニ投錨シ瀬魚釣ヲナシタルモ漁ナク錨ノ引ケタル儘ニ漂流ス潮流北ニ急ナリ

八月二十二日 前零時始動サンギール島ニ向フ針路西正午テガンク島附近ニテ小鯉群ヲ見ル灣入深キ所ニテ淡水ノ補給ヲナシ後ベタ港ニ向フ后七時ベタ入港土人漁夫ノ夜焚ニテ漁業シツ、アルヲ見ル漁獲物ハ「サザ」ナリ

八月二十三日 曇 前四時半ベタ港發西岸へ迂廻シ前十時半タルナ港入港稅關手續ヲナシ夜間土人ヨリボートヲ借入八田網試験ヲナス

八月二十四日 晴南西二一三 前三時タルナ灣内ニテ八田網揚網赤鱈平子鯷漁獲アリ三號船活養シテ十一時タルナ港出帆メナードニ向フ后二時カラマ島北西七湮ノ地點ニテ鯉群ニ會シ七〇尾許リ漁獲シ更ニ西ニ濃厚ナル鯉群ヲ發見シ約一時間許リニテ餌付餌付良好二百尾許リ漁獲ス後カラマ島ニ行キ釜ヲ据エテ節製造ニ從事ス

八月二十五日 晴 一號船ハサンギール島ダゴ灣ニ餌漁ニ向フ三號船カラマ島附近ニ於テ鯉釣從事カラマ島北西五湮附近ヨリ北東海面ニ鳥群多キモ鰯群ニシテ餌付不良ナリホロニテ大版二尾ノ漁ニ過ギズカラマ島泊

八月二十六日 晴南西之風 前六時カラマ島錨地發西岸ニ於ケル魚群ヲ視察シ魚群アルモ餌付不良餌漁場視察トシテ

カハギタン島灣入部ニ行キ視察後カラマ島ニ向フ途中鳥群多キモ鮪群ニシテ餌付不良ナリ一號船ハ昨夜ダゴ灣ニ於テ小鰹入桶鱈鯨三百斤位漁獲シ本日カラマ島附近ニ於テ一斤程度ノ小鰹七百尾許リ漁獲シ陸揚シ更ニ出帆サンギール島西沖合ニ於テ大鰹五十尾漁獲シ來ルカラマ島ニ於テ節製造メ

八月二十七日 カラマ島ニ於テ節製造中ナルモ淡水及餌料ノ供給ナク不便ナルニ依リ根據地ヲタルナニ置ク必要アリ一號船ハ前六時カラマ島出帆漁業シツ、三號船ハ製造道具一切ヲ積ミ込ミ前九時全所發タルナ港ニ向フ后一時タルナ入港一號船モ小版鰹五十尾漁獲入港夜間八田網使網

八月二十八日 前三時八田網使用魚群多カラズ六桶位ノ漁ナリ三號船活養シテ前九時タルナ港發鰹釣ニ向フ鰹群ナキ故ニマガニト灣ニ於テ餌取ヲナスベク引キ返シ一號船モ來船シボートヲ借入八田網ヲ使用ス

八月二十九日 前三時八田揚網四桶位ノ鰹漁アリ前七時半三號船ニ活養鰹釣ニ向ヒカラマ島北西附近索漁セルモ魚群ナク后四時迄漂流後始動タルナ港へ歸航中カラマ島北微西二十哩附近ニ於テ小鰹群餌付不良更ニ大鰹群ニ會シ鮪混リ二十六尾漁獲漁獲后九時タルナ入港

八月三十日 前三時タルナ港出帆ダゴ灣ニ向フ五時ダゴ灣着重油購入ノタメ本船ホルネオ島ニ行ク事トナリテ正午ダゴ灣發タルナ港へ歸航中タルナ港外七哩ノ地點ニ於テ小鰹大群ニ會シ約三桶位ノ餌ニテ三斤半程度ノ小鰹八十尾漁獲后五時半タルナ港入港

八月三十一日 三號船タルナ港碇泊一號船餌活沖合ニ向ヒ后四時中鰹百三十尾漁獲シ來ル魚群濃厚ニシテ餌付良好ナリシモ持餌少ク漁少シ

九月一日 晴南東一 后二時タルナ港出帆メナード港へ向フ針路南微西タルナ港外鰹群ヲ見ル

九月二日 晴南東二 シアウ島通過後針路南后二時五十分メナード入港投錨

九月三日 晴西三一南東一 重油購入打合及漁業權其他入港届ヲナス一號モ來ル

九月四日 メナード港碇泊

九月五日 右全

九月六日 バリクババン行中止トナリ后二時半ケマニ向ヒテ一號船出帆后四時半三號船メナード出帆后五時マンテラウ島附近ニ於テ鰹群及土人鰹船二隻ヲ見ル后六時テリツセ島附近二隻共假泊

九月七日、曇南二 前七時錨地發レム水道ヲ南ニ通リテケマニ向フ漁船及鯉群ヲ見ル一號船ハレム島ノ東ヲ通りテケマニ向ヒ十一時五十分ケマ着投錨ス上陸八田網ニ使用船借人交渉月没後八田網ニテ鯉ノ仔十桶位漁獲セリ

九月八日 晴南東二―三 一號船錨釣ニ向ヒ午后七時歸ル魚群ヲ見ザリシト言フ

九月九日 曇南東三 前三時ヨリ火焚セルモランブノ具合悪シク五時揚網セルモ漁獲ナシ前七時ケマ沖ニ鳥群ヲ見タル故ニ一號船沖出ヲナス后一時ケマ南東十五湮ノ地點ニテ中鯉七百尾漁獲シ來ル魚群實ニ濃厚ニシテ餌付甚ダ良好ナリ一尾一圓二十錢ニテ賣却ス五時四十分三號轉馬船ヲ曳キテケマ發レム水道口附近ニ餌取ニ向フ后六時半全所着

九月十日 前三時半八田火焚ヲナシ月没時ニ於テ鯖鯉等火付キタルモ途中ニ於テ火ノ消滅セル故ニ逸散シ五時揚網鯉二桶ノ漁ニ過ギズ(后四時一號船ヨリ轉馬船ニテ迎ヒ來ル)昨日残り餌ニテ鯉二百七拾尾漁獲セリ魚群濃厚且ツ餌付良好ニシテ見込多シ重油積取ニ關シ打合ノタメケマ港ニ引キ返ス五時全所發六時四十分ケマ着

九月十一日 晴南微東二 三號船ホルネオ島ニ重油積取ノタメ行ク事ニ決シ后一時二十分ケマ發メナード港ニ向フレム水道北口附近鯉群濃厚ナリ午后五時タリツセル島附近鯉群多クシテホロニテ二尾ヲ漁獲シ后九時二拾分メナード港着投錨通譯傭入ノタメ碇泊

九月十二日 晴南東二 前十時十分メナード港發ボルネオ島ニ向フ針路西二分の一南正午西微南變更終日魚群ヲ見ズ續航

九月十三日 曇南微東二 針路西微南前九時半距岸七湮附近ニテ鯉群アリ濃厚ニシテ角釣ニテ三十尾許リ漁獲ス正午距岸六湮附近ニ於テ夥シキ鯉群アリ數湮ニ亘リテ斯カル本航海中未ダ見ズ更ニホロニテ十尾釣ル午后四時ホール着七時四十分全所發此ノ附近ニ於ケル鯉漁業甚ダ見込多シ

九月十四日 曇北西一 バリクババン行ヲタラカンへ變更針路北西微西二分の一西前九時流木付魚群アリホロ角ニテ七尾漁獲十一時二十分更ニ流木ニ會シ七十餘尾漁獲小鮪ナリ腹中檢スルニ索餌少シ仔鯉アリ標品トシテ採收ス午后九時サンピト燈臺左舷ニ見ユ

九月十五日 曇南東一 前十時四十分大ナル流木ニ會シ鯉群飛躍スルアルモ漁ナクホロニテ大鮪二尾漁獲針路北西バイロットヲ乗セタラカン入港后五時半タラカン棧橋沖ニ投錨

九月十六日 晴 タラカン島泊油買入方交渉

九月十七日 曇南東二 タラカン島泊午後二時ヨリ重油積込開始午後九時三十分終了四拾噸積込一噸四十七圓替后十時タラカン發メナードへ向フ針路東南東

九月十八日 曇南東二 前七時半流木アリ鯖群ニシテ十尾漁獲后五時二十分鳥付大魚群アリテ鯉中版十三尾鯖一尾釣ル針路東南東

九月十九日 晴南東一 前六時本船ノ位置ハリソガドン燈臺ヲ北東二十八湮ダコ岬北西二十八湮タラカン燈臺東南東二百十八湮時速七湮ナリ正午迄四回鯉群ニ會シ角ニテ釣獲スルコト四十一尾正午針路東變更午後魚群ニ會セズ

九月二十日 晴 前八時針路東十時微南二三魚群ニ會シタルセ魚足速クシテ漁獲ナシ后五時メナード入港后十時半メナード發ケマニ向フ

九月二十一日 前六時ケマ着午後七時一號船鯉二百八十尾漁獲シ來ル

九月二十二日 三號船ケマ泊一號船沖出鯉二百八十尾漁獲シ來ル

九月二十三日 曇南東二 三號船ケマ碇泊一號船鯉釣ニ出動セルモ本日漁獲ナシ夜八田網ニテ鱈小漁アリ一號船積ミテメナード港方面ニ索漁ニ向ヘリ十二時出帆ス

九月二十四日 曇後晴南東二 三號船ケマ泊一號船午後十時三十五分歸ル魚群甚タ多キモ餌付不良ナリ

九月二十五日 曇南東二 二隻共レンベ水道ニ至リテ重油積移シ夜間レンベ水道ニ於テ八田網使網午後十二時揚網小鱈赤鱈等約四十桶漁獲アリ一號船活沖出三號船ハ二回目ノ餌ヲ取リテ出漁ノ予定本日一號船へ轉船ス

九月二十六日 晴北西一 前五時迄ケマ沖ニ漂流一應ケマニ引き返シ打合ヲナシ當分當地ニ於テ漁業スルコトナリ七時二隻共沖出ケマ南東沖十五湮ノ地點ニテ前十時一回流シ百五十尾后三時二回流シ百四十八尾漁獲魚群多キモ餌付不良ナリ午後七時三號船レムベ島附近ニ於テ中鯉六百二十尾漁獲シ來ル八田網使用ノタメレムベニ引き返セルモ準備ナラス

九月二十七日 晴南東二 三號船殘餌取纏メ前六時出漁午後六時歸港中鯉二十七尾漁本日魚群少ク餌付不良ナリ夜八田網相當漁アリ

九月二十八日 晴南東二 前六時レムベ水道發三號船鯉釣ニ向フ后三時歸ル小鯉百八十尾漁獲持餌少ク角ニテ釣ル夜間餌料三十五桶位漁アリタリ

九月二十九日 晴南東一 前六時十分一號船餌三十五桶活養鯉釣ニ向フ本朝甚タ濃厚ナル赤鯉ノ火付セルモ潮流甚タ急ニシテ網入セス九時ヨリ十時二十分迄二回流シ十時半切上ケマヘ向フ鯉五百四十尾ソ一ダ鯉三十尾漁後レムベニ引キ返シ夜八田網使用ス

九月三十日 前六時一號船餌活出動ケマヨリ南々東ニ正午迄走りタルモ魚群ナク引キ返シ午後三時ケマ南東六湮ノ地點ニテ濃厚ナル魚群ニ會シ餌付不良約二十分分流シ後四時切上ケケマニ向フ五時ケマ着鯉三百三十尾漁獲陸揚賣却後レムベ水道ニ向フ

十月一日 曇南東三一四荒天 昨夜漁獲セル餌三桶土人ヨリ購入セルモノ三桶活養十二時三號船レムベ水道ヨリ出漁シタルモ荒天ニテ漁獲ナシ

十月二日 曇南東二 前三時三號船餌五十六桶活養レムベ水道ヨリ出動前六時半一號船六十桶餌活出動ケマ南東ヨリ南々東海面ハ落潮流ノ南東ニ急ニシテ潮波高ク魚群アルモ餌付不良ナルニ依リレムベ島方面ニ潮上リヲナセルニ午後二時半鯉ノ小群ナリト見テ投餌セルニ餌付甚ダ良好大群ニシテ三時十五分迄二回流シニテ漁獲鯉八百十九尾ノ漁獲ヲナセリ三號船モ全所附近ニ於テ八百尾ノ漁ヲナセリ魚群廣汎ナラズシテ集合セル大群ナリキ海況稍從前ト異ル

十月三日 雨南東三一號船出動前四時ケマ發五時半レムベ水道ニテ餌十桶ヲ活養シ六時全所發レムベ島南ヨリケマ東及南東沖魚群多ケレ共鮪群ニシテ餌付甚ダ不良鯉群浮上セズ鮪五尾鯉一尾ノ漁ニ過ギズ午後六時半レムベニ引キ返ス十月四日 曇南東四 前五時半昨日殘餌八桶位活養一號船レムベ水道ヨリ出動南東強風潮流高ク鯉群多キモ餌付不良午後一時餌付キタルモ持餌少ク百五十尾ノ漁獲ニ過ギズ午後二時ケマ着漁獲物賣却後四時ケマ發五時半レムベ着十月五日 南強東風高浪ニシテ休泊

十月六日 曇南東二 前六時半餌三十桶活養レムベヨリ出動七時四十分レムベ水道口附近鯉群アリ二回流シニテ漁獲其他本日魚群甚ダ多キモ餌付惡シク后三時ケマ着鯉二百尾漁獲賣却ス

十月七日 晴南東二 前五時半餌三十桶活養レムベ發六時半レムベ水道口鯉群アリテ漁獲七時五十分ケマ東沖五湮ノ地點ニテ二回流シ八時四十五分ケマ着漁獲物賣却餌付良好ナリキ鯉一千二十五尾ソ一ダ鯉二百尾漁獲アリ

十月八日 晴南東一 五時十七分レムベ水道發餌四十五桶ヲ準備ス九時頃迄魚群浮上セザリシモ後多ク浮上シ何レモ相當ニ餌付シケマ南東海面ニ於テ二隻共從漁一號船七時十五分ヨリ九時半迄二回流シニテ鯉九百四十四尾ソ一ダ鯉

四十尾鮪十二尾ヲ漁獲三號船全所附近ニ於テ一千八十尾ノ鯉ヲ漁獲ス

十月九日 晴南東一―二 二隻共出動本日餌四十五桶位ヲ活養ス前九時一號ケマ南微東十哩附近ニ於テ甚ダ餌付良好ナル魚群ニ會シ漁獲午後一時ヨリ二時半迄ケマ東五哩ノ地點ニテ更ニ從漁魚群實ニ多ク其ノ數十三、四ヲ數フ餌付旺盛ナラザルモ相當ニ漁獲アリ一號船鯉九百十四尾三號船鯉三百尾漁獲ス毎日鯉群濃厚トナリツ、アリレムベ水道ニ於テハ夜間月明時ニ於テ沿岸樹蔭ニ集合スル赤鯉群ハ實ニ濃厚ニシテ小網ニテ漁獲スルコト百二十桶以上ニ及ブ當地ニ於ケル漁業愈々見込多シ

十月十日 晴南東一 前五時半二隻共出動一號船餌四十八桶活養シ前九時ヨリ午後二時迄ケマ沖ヨリレムベ島南ニ亘リテ魚群甚ダ多ク四回流シニテ漁獲三號船ハ早朝ケマ沖二哩附近ニ於テ約一千三十尾漁獲シ陸揚後更ニ出動夕刻更ニ五十尾漁獲シテ歸港セリ本日一號船漁獲高一千二十四尾ナリ

十月十一日 晴東一 前三時ヨリレムベ水道ニ於テ餌活ヲナシ四時全所ヨリ出動セルニ魚群浮上セズ十時一回流シ四十尾許リヲ漁獲シタルニ過ギズ本日海況變調アルガ如シ

十月十二日 晴南二 昨夜ケマ沖ニテ漂流シ今朝五時ヨリ始動魚群ヲ探シタルモナク南微西二十哩附近ニアルベラング島附近ニ向ヒ十時全所附近ニ於テ魚群多ク正午迄四回流シニテ漁獲餌付不良本日漁獲三百五十三尾三號ハケマ沖ニテ二百九十尾ノ漁獲ヲナス

十月十三日 晴南一 昨夜十時半レムベ水道ヨリ出動餌八十桶位ヲ活養シ昨日漁場ベラング島附近ニ至リテ十時ヨリ十一時迄從漁鯉七百二十尾ヲ漁獲ス三號船モ全所附近ニ於テ七百四十尾ノ漁獲ヲナス

十月十四日 本日ハ三號船出動鯉百五十尾ノ漁獲アリ

十月十五日 本日三號船出動鯉四百尾メキテ百尾ノ漁アリ

十月十六日 本日一號船沖出前八時レムベ水道南口鯉群二三アルモ魚足速ク漁獲ナク九時ケマ沖ニテ餌付セルモソトダ鯉群ニシテ中止シベラング島ニ向ヒタリ午後四時全所ニ着ケルモ魚群ナク四時半引キ返ス午後十一時半レムベ着十月十七日 曇南二 本日ヨリ一號船アンボンハルマヘテ方面ニ向ケ鯉漁業視察ニ向フ事トナル前八時レムベ發十時ケマ着メナードヨリマシン油ノ着荷セサル故ニ鯉釣ニ向フ正午ケマ沖五哩附近ニ於テ餌付極メテ旺盛ナル魚群アリテ二回流シニテ漁獲約五桶未滿ノ餌ニテ三百四十尾ノ漁獲アリタリ角釣ノ成績甚タ良シ午後二時二十分マシン油積込ケ

マ發アンボンニ向フ針路南々東續航

十月十八日 曇南二 針路南々東續航前八時推測ニ依リテ赤道通過ニ付キ十分間機關停止ス

十月十九日 午前四時スル島北側ニ出テタルヲ以テ針路ヲ東南東ニ變更ス前五時半鯨群ノ飛躍スルヲ認ム前六時五分鯨群ヲ認メ前七時リサナタラ岬右舷ニ通過針路南東微南正午航路ニ於テ鯨ノ大群ヲ見ルホロ曳ヲナセモ喰ヒ惡シ午后四時航海中抹香鯨ノ游泳スルヲ見ル午后四時ボウロ島見ユ

十月廿日 晴南東一 午前七時ボウロ島東端通過針路南東微東アンボン灣ニ向フ鯨群二三アリタルモ釣獲スル能ハス

鯨一尾釣獲土人ノ漁船ホロ曳ヲナシツ、アルヲ二隻認ムアンボン灣口南西十五哩ノ地點ナル午后七時アンボン港入港

十月二十一日 晴東一 午前七時祝關手續ヲナシ十時アンボン港發餌場ヒツニ向フアンボン灣ヲ出デテ西ニ迂廻シ東ニ走リヲ六時間ヲ要シ午后四時半ヒツ着餌ナク全所泊

十月二十二日 晴南東二 餌ナキ故ニ沿岸ニアル土人漁具セーローヲ辿リテ西航シアンボンニ向ヒ午后四時半アンボン港投錨灣口西側ニ於テ濃厚ナル鯨鯨群アリタルモ漁獲ナカリキ

十月二十三日 晴南東二 前四時アンボン港ヲ出帆シアンボン灣内ニ於テ餌ヲ探シタルモ入手セズ少々入手シタルニ過キスアンボン港泊

十月二十四日 曇南東二 午前八時錨地附近ニ於テ土人漁夫ノ漁獲シ活養セル鯖仔赤鯨青鯨南洋鯖等大型餌料(五寸大)百桶位購入シ三牛簍ニ活養シ全所ヨリ出漁前九時アンボン燈臺沖合三哩位ノ地點ニ於テ鯨群多ク大型餌料ナルニ依リ大鯨ノ餌付甚旺盛トナリ十一時迄四回流シリテ漁獲大鯨多カリシ故ニ釣具ノ損スルモノ多ク漁獲能率上ラズ然レ共、鯨百二尾大鯨四百二十八尾ヲ漁獲シ十一時切上ケテアンボンニ引キ返ス魚群實ニ濃厚且ツ廣汎ニシテ有望ナル漁場ナリ二時アンボン着投錨漁獲物處理大鯨全部及鯨百尾ハ處分シタルモ鯨三百餘尾處分シ切レズ魚市場ニ上ゲテ列ベ

ル明朝賣却セントス

十月二十五日 晴南東二 午前中鯨賣レズ腐敗ニ傾キタルヲ以テ一尾最後ニ十錢宛ニテ處分ス午后零時半アンボン發

タルナテニ向フ午后四時アンボン西端通過針路北微西

十月二十六日 曇風力零 續航針路北午後二時オンビマジヨウ通過ビサ島通過後針路北東ニ取リバチヤン海峡ニ入ル

豫定

- 十月二十七日 前五時バチヤンハルマヘラ間ニアル小島通過ロランカヨア、マクヤン、モテイルラ、イグーレ島ノ東岸ニ沿ヒテ走り午後五時三十分タルナテ港ニ投錨ス
- 十月二十八日 タルナテニ於テ餌料ヲ得ントシテ奔走セルモ入手セズ全所發
- 十月二十九日 タルナテニ於テ餌料ノ入手困難ナルガ故ニ前九時五十分全所出帆全所近海ノ鯉漁場ヲ視察シツ、ケマ港ニ向フ土人漁船五六隻出漁中ナルモ魚群ノ浮上ナク漁獲見込ナキ故ニケマニ針路ヲ取ル針路西
- 十月三十日 晴 午後〇時ケマ沖五渾ノ地點鯉群多キモ少シモ餌付セズ午後一前ケマ着
- 十月十七日ヨリ本日迄三號船ハ機關ノ修理旁々餌料ノ漁業鯉漁業ニ従事シタルモ其後餌料ノ漁獲ナク僅カニ鯉三百餘尾ノ漁獲ヲナセルニ過ギサリシ
- 十月三十一日 前五時ケマ發ビツンニ於テ淡水補給正午ビツン發一時三十分ケマ着當地近海ノ漁業切上ゲ歸港ニ決シサンギール島ニ向フ事トナル本夜三號船ニ移乘ス
- 十一月一日 晴 一號船前六時製造用具積込ケマ發サンギール島タルナ港ニ向フ三號船午後二時ケマ發レムベ水道ヲ通リテサンギール島タルナ港ニ向フレムベ水道北口附近鯉群多キヲ認ム
- 十一月二日 晴後雨南西二 前五時シアウ通過正午タルナ港着投錨製造用具一切陸揚倉入ス
- 十一月三日 曇北西二 本日一號船へ移乘ス前九時タルナ港出帆針路北西ミンダナオ島ザンボアンガ燈臺ニ向フ
- 十一月四日 曇風向不定 續航ザンボアンガ燈臺へ針路北西后三時鯉群ニ會シ流木付ニテ釣獲鯉二十八尾鯉五尾メキチ一尾ヲ漁獲シ鯨ノ腹中ヨリ鯉ノ仔魚ヲ採收スルコトヲ得タリ三號船モ本船西方ニ於テ漁業シツ、アルヲ認ム
- 十一月五日 晴西二 前七時三十分針路南西微西午後一時ザンボアンガ右舷ニ見テ通過ミンダナオ西端ヲ北ニ走ル午後二時ヨリ針路北ニ變更ス
- 十一月六日 曇北二 針路北バナイ島ナガス島燈臺ニ向フ前八時四十五分航路筋ニ於テ流木付魚群ニ會シホロニテ一尾漁獲流木甚ダ多ク鯉群多シ午後四時三十分小鯉五十尾小鯉一尾ヲ漁獲ス此ノ附近餌アラハ好個ノ鯉漁場ナリ針路北
- 續航
- 十一月七日 曇北二 前三時ナガス島燈臺ヲ見ル針路北西變更前六時ナガス燈臺通過針路北々西變更午後二時針路北ニ變更

十一月八日 曇北々西三一四 前六時針路北西午后四時頃ヨリ北々西ノ風強クナリ荒天トナリ午后五時半濃厚ナル魚群ニ會シ鮪及ソーダ鯉ニシテ二十尾許リヲ漁獲ス鯉一尾モ發見セズ
 十一月九日 曇北東四 前五時四十分ゴロ島東ヲ通過シテマニラニ向フ后二時灣口燈台ヲ通過シテマニラ灣ニ入ル北東強風ナリ午后七時マニラ港波止場沖ニ投錨ス
 十一月十日 晴 マニラ港碇泊三號船來ラズ領事館ヲ訪問ス午后十二時三號船來ル
 十一月十一日 晴 淡水重油積込午后九時二十分マニラ港出帆沖繩ニ向フ
 十一月十二日 晴北々東二一三 針路北微西午后五時針路北變更
 十一月十三日 晴北二 前六時針路北々東變更ウネリ高シ前八時針路北東微東變更
 十一月十四日 前四時ケイブボヂエアドール燈台通過針路北々東ニ變更波浪高シ
 十一月十五日 曇北東二 前五時針路北東正午ノ位置ヤミ島南東二十五湮紅頭嶼ヲ北ニ見ル午后三時東經百二十九度四十八分北緯二十一度四十八分
 十一月十六日 晴北東微東二 針路北東續航
 十一月十七日 前六時石垣島ヲ見ル前九時石垣島南東五湮通過午后十時半宮古島來間島珊瑚礁ニ座礁ス離礁ニ努メタレ共不能
 十一月十八日 前九時三十分離礁沖繩ニ向フ正午宮古島北東端通過
 十一月十九日 前五時久米島ヲ見ル午后二時沖繩那霸港入港三號船昨日正午全所入碇
 十一月二十日 沖繩碇泊三號船餌ヲ生ケテ出帆スルコト、ナル
 十一月二十一日 午后一時那霸港出帆枕崎港ニ向フ
 十一月二十二日 正午北島島右舷アビーム船中死亡者一名ヲ生ゼル故ニ坊泊ニ向フ
 十一月二十三日 針路北東續船
 十一月二十四日 前十時坊泊入港十一時全所發正午枕崎入港
 十一月二十五日 前二時枕崎港出帆鹿兒島港ニ廻航午后〇時半鹿兒島港投錨ス

原耕氏南洋漁場探見講演

昭和貳年十二月五日商船水産學校ニ於テ

今日ヨリ六年前枕崎ヨリ鯉漁船ヲ以テ沖永良部島迄出漁セシニ當時此ノ方面ニ出漁スルモノハ殆ントナク最モ遠方ト考ヘ非常ニ危険視サレテ居リマシタ亞テ五年前沖繩諸島ヨリ赤生嶋ニ行キ又大東島ニ行ク水先案内ヲ求メタレ共得ラレズ仕方ナク海圖ヲ便リニ二百十日ノ暴風季ノ最中五十馬力ノ船ニテ出發二百十一日ノ夕方着キ荒天ノタメ錨モ入レズ歸港シ稍々遠航海ノ經驗ヲ得四年前基隆ニ行キ三年前パタンパン海峡ニ向ヒ高雄ヨリ南支那海ノ鯉漁場ヲ探リタルニ早ヤ船員ニホームシツクラ起シ怠業状態トナリ止ムナク引返シ船員全部ヲ解雇シ新ニ船員ヲ集メテ昨年難航ヲ續ケテ基隆ニ參リ本年愈々南洋行キテ決行スルコト、ナレリ。

我千代丸ノ一行ハ六月二日郷土ヲ離レ途中沖繩縣與那國島ニテ漁業セシモ漁獲ナク呂宋北東ヲ一直線ニ菲律賓ノ五十二哩乃至三十哩ノ沖ヲ走リサムア島ニ着キ當時魚群多カラサルモ百尾位ヲ漁獲シ前途ヲ祝スヘク此鯉ニテ祝杯ヲ舉ゲ五六時間休ミバラヲニ向ヒ一時間六哩位ノ速力ヲ以テ世界第一ノ探所ト稱スル九千米突ノ深海モ異狀モナク陸地ヲ離レテ五六晝夜ノ後無事バラヲニ着キマシタ非常ニ鯉ノ多キ様子ナレトモ準備セシ網ニテ餌鱒漁ニ着手セシモ得ラレズ其後沖合ニ出、火ヲ焚イテ見ルト鰾群良ク付クユヘ内地ヨリ八田網ヲ取寄スコトニ決シ到着迄ニハ約一ヶ月ヲ待タテハナラナカツタ此間私一人ハ汽船便ニテ蘭領ニ向ヒマシタ、バラオニ残りシ百十三名ノ漁夫ハ暇ナノテ貝採リ底魚釣リヲヤリ底魚ノ如キハ實ニ多ク種屬モ内地ト大差ナク一人一夜ニ五、六十斤ノ漁獲ハ容易ナルモバラオノ一日鮮魚ノ消費量ハ約五百斤位ニシテ斤十七八錢ナルタメ供給過多トナリ却テ處分ニ窮セリ。一ヶ月ノ後蘭領ヨリ歸リ内地ヨリ追送ノ八田網モ到着シ早速餌漁ヲヤリシニ餌専門ノ漁夫ナク全部素人集マリテアリシモ之レハ又余想外ノ大漁ヲ從來バラ

ヲニハ鯤ナシト云ハレシモ鯤鯨等最モ多ク他種類モ多イトテモ内地ノ長崎鹿兒島ノ比ヲナク蓄養ノ成績モ良クバラヲノ餌、餌ノバラヲト稱シテノ價値充分アリマス。

バラヲニ着ク一日前鯨ノ大群ト適ヒシモ八田網到着後ハ鯨少ナクバラヲ一週ヲ試ミ詳細ニ亘ル調査ハ出來サルモ五六湊ノ沖合ヲ廻リマシタ。ソソノール島ハ鯨群多シト聞キ向ヒタルニ鯨群ハ一、二百尾ノ釣獲ハ容易ナレ共根據地トシ不適當ナルタメバラヲオ島ヲ引揚ケ蘭領東印度ニ向フコト、セリ。

蘭領ニ於テモ有望ナルハ菲律賓ニ近キバルマスト聞キソノールヲ後ニバルマスニ向ヒタルニ漁夫ノ或ル者ハ己ニ意氣消沈シ歸郷ヲ逼ル者サヘアリマシタ。バラヲヨリバルマスニ向フ途中船員一人海中ニ飛込ム者アリ様々ニシテ救助セシハ正ニ夕陽ノ没セントスル頃ニシテ若シ晩ナリセハ一命ヲ捨タル處ナリ多分精神ニ異狀ヲ呈シタ結果ニシテ其ノ夜充分ナル手當看護シ無事ナル得タリ航海中ハマストニランブヲ吊リ船ノ所在ヲ知ラセツ、アリシモバルマスニ着ク一日前一隻ヲ見失ヒ行衛不明トナリ心配セシモ幸ニ前後シテ入航致シマシタ。此地ハ蘭領ナルタメ言葉ハ通セス土人モ勿論判ラス幸支那人カ一人居テ筆談ニテ意ヲ通スルニ支那人書シテ此ノ東ニ淺水アリ鳥ト鯨等多ク存ス淺水トハ吾々ノ云フ會根ノコトナリ、此處ハ土人ノ會長ノ權威強ク會長ノ意見一ツヲ決スルコト多シ吾々ハ豫メ用意ノ土產物ヲ此ノ會長ニ呈シ好都合ヲ得マシテ二人ノ土人ヲ案内者トシテ漁場ニ行キ百尾位釣リ全部土人ニ提供シマシタ本島ハ口永良部島程度ニシテ道路等ハコンクリート塗ニシテ文明ノ惠澤ニ浴シ土人モ相當進歩シテ居リマス。根據地トシテハ貧弱ナル爲メ三日間滞在シ此處ヲ去リタラオ島ニ向ヒ此ノ島ハ大島ノ如ク五、六ノ列島ヨリナリ魚群ヲ調査セルモ思ワシカラヌ薪炭ノ補給ニ陸地ニ行ケハ土人連二三十人集マリ來テ泡盛ヲジャバンウイスキート命名シ土人ニ與ヘタルハ毎日來リ多クノ物品ヲ強要セラレ國際的費用ヲ多ク消費セリ。

タラオ島ノ南ニ在ルサンギールハ我カ種子島屋久島程度ノ島カ無數ニアリ豫想セル漁場ナレハ念入りニ調査シ廻レリ

同一場所ヲ二隻ヲ調査スルハ不經濟ノタメ二手ニ別レ調査シサンギールノタルナニテ二隻ト合スタルナハ汽船ノ出入港ニシシ人口一萬強ニシテ日本人家族二軒アリ吾等ノ入港ヲ聞キ尋ネ來リ種々ノ便宜ヲ得マシタ。此ノ地一帯ハ殆ンド馬來語ニシテ英語蘭語ハ僅カニ使用サル、ノテス。餌多カラサルモ相當アリ鯉群モ一日二三百尾位漁獲サル、ユヘ月十五圓位ノ住宅ヲ借り釜ヲ据ヘ製造場モ出來上リシ際外國人カ入國稅モ納メス漁業スルハ不都合ナリト立返キヲ命セラレマシタ。此ノ地ニ土人が鹽乾魚ノ商賣ヲヤリ吾々カ生賣リヲスルノテ商賣ノ仇カラ申込マレシ事ト察セラル最旱燃料モ懷中モ少クナリマシタノデタルナヲ後ニメナードニ入港致シ長官ノ處ニ行キシニ何ニカ書面ヲ見ツ、君カ原耕カバルマスカラヤツテ來タノカネト極テ微細ナル處マテ問ハシマシタ私シモ事實ヲ申上ゲ貴國ノ人々カ世界各國ニ貿易ヲ擴メタ様ニ吾々モ鯉漁業ノタメ日本ヲ代表シテ參リシ者ナレハ吾々ヲ緩大ナル處置ヲ願フ者デアリマス内ヲ出ル時ハ一隻ニ五六名ノ船員手帖ノ外全部無カッタカ特別ノ許可ヲ得テ海員ナル證明ヲ得漁業ヲ營ンデモ差支ナキヲ證明サレマシタ。

東岸ノケマニ行キ此處ハ鮮魚ノ一日ノ消化ハ三四百尾位ニシテ一尾一圓二十錢ヨリ七、八十錢ニ賣レル處デアリマスケマニテハ五百乃至八百尾位賣却シ餌ノ多ク居ル場所ナリ八田網ニテ赤鯉ノ子ヲ取ル事ヲ經驗シ此ノ赤鯉ノ子ハ餌料トシテ鯉ヨリ良キ餌トナリマシタ此ノケマノ前ニレンベート稱スル島アリ歐洲大戰中獨逸ノエムデン號ノ隠レシ島テアルソウデス此ノ島ニテ餌ノ研究ヲ約一ヶ月位ナシ相當ノ漁ヲ致シマシタ長キ航海ニヨリ重油ハ欠乏致シ求メタケレ共輕油ハアリマスカ一罐二圓ノ高價ニシテボルネヲノタラカンハ重油ノ產地トシテ其ノ名ヲ知ラレ此處ニ行ツタナラ安價ニテ船一バイ求メルベク出航致シマシタボルネヲニ行ク間ハ鯉群非常ニ多ク大群ヲナシテ居リマス擬餌ヲ以テ三四十尾ヲ釣リマシタ。

タラカンニ着イテ石油會社ニ行キシニ各國ノ海軍等ヲ相手ニ大々的ニヤルタメ吾々ノ鯉船ノ如キ玩具扱ニサレ一罐一

圓ヨリ一圓二十錢ト云フコトヲ話ニナリマセン石油會社ノ道路ハ内地ノ國道ノ如ク廣ク政府ノ道路ハ實ニ貧弱ニシテ政府ノ兵隊等ハ此ノ石油會社ノ道路ヲ通過スルコトスラ出來ス奇異ノ感ニウタレマシタ、タカランノ石油ノ噴出量ハ一日廿五萬圓ヲ越ヘルト云ヒマス。

食糧ナク醬油味噌ノ欠乏ニ大イニ困リマシタ窮スレハ通スルトカヤテ更目糖ト食鹽水ヲ混合沸騰シ俄作リノ醬油ヲ作リマシタ味噌ハ求メタケレ共ナク支那人ノ使用シテ居ル味噌ハ臭クテ食フ氣ニナラス甚タ困ツテ居ル場合ニ筑前丸ノ入航ヲ聞キ味噌及醬油ヲ貰ヒニ行キ味噌樽二個ト醬油一樽ヲ受ケ鯉二十尾ト交換スルヲ約シテ歸ツテ見ルニ其ノ日ニ限ツテ一尾ノ漁モナク精々釣ツタラ百尾位ハ釣レス事モナカツタカ潮流及餌料欠乏ノ關係上釣レス仕方ナク便ヲ立テルニ早クモ定規ノ自働車モナク高キ賃銀ヲ拂フテ此ノ由ヲ傳ヘ明朝出發シテ港ヨリ七八哩ナル地點テ吾々ノ釣ツタ鯉ヲ與ヘマスカラ其ノ場合ハ船ヲスローニヤツテ船尾ノ方ニ網ヲ垂シテ下サル様ニ願ツテ歸リ明朝トナリ必死ノ努力ヲ以テ釣レトモ釣レス己ニ船ハ見エ氣ハアセルノミテ鯉ハ更ニ釣レナイ愈々船ハ接近シ止ムナク汽船ト反對ノ方向ニ走リ信號ヲ以テ一尾ノ漁ナキヲ通知スレハ向フヨリ感謝ニ堪ヘストノ返信ヲ受ケ遺憾乍御禮ヲスル事ハ出來マセンテシタ、ツクヅク手旗信號ノ有難味ヲ感シマシタ。

此レヨリ南バンダ―海ニ進ミ南ニアル小島アンホンニハ十二人ノ邦人カ居リマシタ此ノ島ヲ一廻リシレベスヨリブルニ廻ル此ノブルハ南洋中只一ツノ禿山テアリマス。アンボン港ハ良港ニシテ市街モ立派テス餌料モ豊富テ僅々三時間ニテ鯉七百尾位ヲ漁シ漁獲セシ鯉ヲ朝ノ十一時頃ヨリ午後七時頃迄賣リシモ商賣シ切レス官憲ヨリ來リ最早此ノ鯉ハ腐敗ニ傾キツ、アルヲ以テ今カラ三十分後迄ハ賣却シテモ差支ナキモ其ノ後ノ賣却ハ禁ストノ命令ニ接シ大安賣ヲ以テ一尾十錢ニ引下シテ僅カ半時足ラスノ間ニ土人カ買ツテ行キマシタ。此ノ地ハ生賣ノ地トシテハ不適地ヲアリマス、ハルマハヘラヲ中心トシテ南北ニ無數ノ小島アリ調査セシニ餌鯉多ク又鱻其ノ他ノ雜魚モ多ク到底日本沿岸ノ比

ヲナイ三時間位航スレハ必ス三四ノ鯉ノ大群ニ邁フ天候ハ良好ニシテサナカラ池ノ如ク時々小浪ノアル位テ海ハ透明ニシテ船上ニテノ動作カ良ク判リ少シ位時化テクレ、ハ良イ位ヲナンタカ鯉釣リニハ物足ラナサヲ感シマス。吾々ハ少サイ時魚ヲ釣ルニハ小雨ノ日カ水ヲ撒クト良ク釣レル事ヲ聞キ是レハ空中ノ動作ヲカクスタメナラント察セラレル尙ホ油ヲ流スト云フケレ共船カラ自然ト流シ出ルカ鯉釣リノ方ハ一ツモ差支ナイ、海ハ清靜テ天候モ良ク餌料モ鯉モ實ニ多イ。此ノ地ハ嘗テ日本人ノ漁業ヲヤリシ事モアリ人種ハ白人ノ混血兒ヤ土人等ニシテ吾々ハ大イニ歡迎サレ日本人ニ好意ヲ表シ土人モ日本人ト大差ナク動作モ似合ヒ或部落ハ甘藷ヲ常食トスル處モアリ氣候温度モ良ク夜間ハ裕毛布等ノ必要ヲ感シ赤道直下ト雖モ風吹キ暑サヲ知ラス山ノ如キハ實ニ樹木繁茂シ陸ハ全部山ニシテ恰モ海ト山トカ存在シテ居ル感カアリマス。

菲律賓西岸ニ櫻島ノ如キ火山アレ共東岸ハ山林ニシテ疊一枚程ノ畑ヲ見ス山又山ニシテ空地ヲ見スメナードノ町ノ如キモ町以外ハ山林ナリ土人ハ椰子ニ依ツテ生活シ仕事ヲスルテナシ鯉漁ノ如キハ内地ノ四五十年前ノ如ク玩具ノ如キ感アリ。何等生活ニ不自由ナキタメニ斯カル状態ニアルト察セラレル。海又山ニ吾々ノ想像以外ノ寶庫アリ此ノ寶庫ハ皆サンノ双肩ニ依ツテ開拓サルノテアリマス。現在ノ吾カ内地ノ漁場ヲ見此ノ方面ノ漁場ヲ想フ時イカナル事カアツテモ吾カ日本人ニ依ツテ開拓セネハナリマセン。吾々一行カ同一ニ此ノ方面ノ有望ナルコトヲ申スニ於テハナントカ致キネハナリマセン。

尙一行中病氣ノタメ歸途大島沖ニテ死セシモ一度生ヲ受ケレハ必ス死ハ免レサル事ニシテ吾々ノ如キ漁師ニ知事閣下及ヒ諸新聞ニテ弔辭ヲ賜ハリシハ無上ノ光榮ニシテ之レハ南洋ノ探見ニ行キシ賜ニシテ深ク感謝致シマス。

昭和三年三月十九日印刷
昭和三年三月廿五日發行

鹿兒島縣水產試驗場

印刷人

鹿兒島市泉町四

馬場

彦

太

郎

印刷所

鹿兒島市泉町四

馬場

印

刷

所

電話八四〇番